Panasonic®

ブルーレイディスクドライブ

取扱説明書

品番 LF-PB371JD

保証書別添付

このたびは、パナソニックブルーレイディスクドライブをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(9 ～ 10 ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

■製造番号(製品本体上面に表示)は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の番号を照合してください。

■サポートやバージョンアップ等のサービスを受けるためには、ユーザー登録が必要です。ユーザー登録をしてください。

対応パソコン

- SATA インターフェースの DOS/V パソコン

対応 OS(日本語版)

- Windows Vista®/Windows Vista® x64 Edition(Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate)
- Windows®XP(Home Edition/Professional)
- Windows®XP Professional x64 Edition

JDQP0234YA

付属説明書の読み進めかた

1. 正しくお使いいただくために

・**本書（取扱説明書）**
本機を正しくお使いいただくための説明
はじめによくお読みください

PDF 版の取扱説明書について
付属 CD-ROM に PDF 版の取扱説明書も収録していますのでご利用ください。

・**保証書について**

保証書は大切に保管してください

本機のサポートを受けるには、保証書記載の製造番号が必要となります。

製造番号の控え											

2. 補助的な情報（インストール方法、ほか）

・**クイックガイド（CD ケース）**
本機を正しくお使いいただくためのクイックガイド
本書と合わせてよくお読みください

3. 付属アプリケーションソフト（インストール方法など）について

・**CyberLink Blu-ray Disc Suite クイックガイド**
BD から DVD や CD まで対応した記録・再生の統合ソフトについての説明
インストールの前によくお読みください

・**シリアル番号（CD-Key）、インストール CD-Key について**

CD-ROM のケースに記載の番号は大切に保管してください

ソフトのサポートなどを受けるには、ケース記載のシリアル番号（CD-Key）が必要となります。

CD-Key の控え																

4. パソコンのシステム環境について

BD タイトル(映画)の再生やビデオカメラのハイビジョン映像(AVCHD や HDV)の編集などには、パソコンの性能が要求されます。パソコンのシステム必要条件は下記をご参照ください。

対応パソコン	SATA ポートを搭載した DOS/V パソコン	
対応 OS	Windows XP (SP2 以降) (Home Edition/Professional/ Professional x64)	Windows Vista (Home Basic/Home Premium/Business/ Ultimate)32bit または 64bit 版
	※上記 OS の日本語版以外(サーバー用 OS や、Windows NT、Windows Me、Windows 2000 などを含む)には対応していません。	
メモリー	512 MB 以上(1 GB 以上を推奨)	1 GB 以上

■ データ系(記録系)アプリケーション使用時

CPU	Intel Pentium Ⅲ 800 MHz、または AMD Athlon 700 MHz 以上
ハードディスク空き容量	インストール時 80 MB 以上の空き容量が必要 書き込みの容量以上の空き容量が必要 *1 (使用ディスクの容量以上の空き容量を推奨)
環境・その他	800 × 600 ドット以上、16 ビット色以上 DirectX 対応(DirectX 9.0 以降が必要)

■ 映像系(記録再生系)アプリケーション使用時

CPU	Intel Pentium 4/3.2 GHz、AMD Athlon 64 X2/2.0 GHz 相当以上 Intel Core 2 Duo/1.8 GHz、AMD Athlon 64 X2/2.4 GHz 相当以上を推奨
ハードディスク空き容量	インストール時 1 GB 以上の空き容量が必要 書き込み容量の 2 倍以上の空き容量が必要 *1 (使用ディスク容量の 3 倍以上の空き容量を推奨)
環境・その他	・HDCP 対応のディスプレイ 1024 × 768 ドット以上、16 ビット色以上 *2 (1280 × 1024 ドット以上、32 ビット色を推奨) ・HDCP および COPP 対応のグラフィックボード　メモリー容量 256 MB 以上の AMD Radeon X1600、NVIDIA : GeForce 7600 相当以上の GPU を使用 (AMD Radeon HD 2600、NVIDIA : GeForce 8600 相当以上を推奨) *3 チップセット内蔵グラフィックの場合は、Intel では G45 以上、AMD では 780G 以上、グラフィックメモリー 256 MB 以上を推奨 ・PCI サウンドカード、またはオンボードのオーディオ・デバイス ・DirectX 対応(DirectX 9.0 以降が必要)DirectX 10 対応を推奨 ・インターネットの接続環境 *4

*1 安定した記録を行うには、連続した領域を確保してください。
*2 BD タイトルのフル画質再生には WUXGA(1920×1200 ドット)対応のディスプレイが必要です。
*3 BD タイトルの再生には最新のグラフィックボードの使用と、動画再生支援機能(AMD は Avivo/UVD、NVIDIA は PureVideo/PureVideo HD として公開)の使用をお勧めします。
*4 CPRM や AACS で保護されたコンテンツの再生にはインターネットでの認証が必要です。

- Windows XP の正式名称は、Microsoft® Windows® XP operating system です。以降 Windows XP と表記します。(本機は Windows XP の、32 ビット版の Home Edition/Professional と 64 ビット版の Professional の各バージョンに対応します。)
- Windows Vista の正式名称は、Microsoft® Windows Vista® operating system です。以降 Windows Vista と表記します。
(本機は Windows Vista の 32 ビット版と 64 ビット版の、Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate 各バージョンに対応します。)
- 特にことわり書きのない場合、Windows XP/Windows Vista などの各バージョンを総称して Windows と表記します。

特　長

多彩なメディアに対応（☞ 12 ～ 13 ページ）

■ BD-R/BD-RE の 2 層対応で大容量保存、BD-R は 8 倍速対応
（8 倍速での記録は、6 倍速の BD-R のみ対応）

■ BD/DVD/CD 対応の１台３役、14 種類のメディアに対応

【記録 / 再生系】
- BD-R 1 層 25 GB、2 層 50 GB の大容量記録。8 倍速記録・再生
- BD-RE 1 層 25 GB、2 層 50 GB の大容量記録。2 倍速記録・再生
- DVD-RAM 片面 4.7 GB、両面 9.4 GB の 5 倍速記録・再生
- DVD-R、+R の 16 倍速記録・再生。DVD-R DL、+R DL の 8 倍速記録・再生
- DVD-RW の 6 倍速記録、8 倍速再生。+RW の 8 倍速記録・再生
- CD-R の 48 倍速記録・再生。CD-RW の 24 倍速記録、32 倍速再生

【再生系】
- BD-ROM は 8 倍速再生
- DVD-ROM は 16 倍速、DVD-Video は 6 倍速での再生
- CD-ROM は 48 倍速、音楽 CD は 24 倍速での再生

SATA(Serial ATA)インターフェース採用（☞ 20 ～ 21 ページ）

■ 高速データ転送が可能な SATA 対応でパソコンとの接続も簡単

多彩なアプリケーションソフトを付属

■ BD から CD まで対応の統合ソフト（CyberLink Blu-ray Disc Suite ☞ 25 ページ）

BD から DVD や CD の各ディスクに対応した、ビデオ編集から記録･再生までの各アプリケーションを統合したソフトです。

CyberLink Blu-ray Disc Suite の統合ランチャーメニューで、やりたいことを選択していくことで、用途に応じたソフトが起動します。
CyberLink Blu-ray Disc Suite は以下のソフトで構成されています。
CPRM で著作権保護された映像を再生するには、最初にインターネット接続での認証が必要です。
AACS での著作権保護のため、インターネット接続でのアップデートなどが必要となる場合があります。

- 各社のアプリケーション名の表記は、特にことわりのない場合バージョンの表記を省略します。また各アプリケーションで作成したディスクは、これらのディスクに対応したすべての機器での再生を保証するものではありません。

本機を組み込んだパソコン等は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。 電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。

（社団法人日本電子工業会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

- **ビデオや音楽の再生ソフト....PowerDVD(☞ 26 ページ)**

  市販の BD や DVD のビデオから音楽 CD まで対応した、多彩なプレーヤーソフトです。

  特長
  - BD タイトルの BONUS VIEW や BD-LIVE に対応
  - DVD ビデオの SD 画質映像を高画質で再生
  - AVCREC など幅広いフォーマットに対応
  - ショートカット、ブックマークなど便利なツールで簡単操作

- **ビデオ作成ソフト .... PowerProducer(☞ 26 ページ)**

  HD 映像素材に対応し､BD や DVD のディスクに高画質のホームビデオを作成するソフトです。

  特長
  - H.264 に対応し、AVCHD 形式の編集・ディスク作成
  - スタイリッシュな DVD メニューやスライドショーを作成
  - 自動画質調整でメディアー枚に収めるスマートフィット
  - BD への BDAV(ビデオ)、BDMV(ムービー)形式の書き込み

- **ビデオ編集ソフト .... PowerDirector(☞ 26 ページ)**

  ビデオの自動補正や自動編集もできる、HD ビデオ対応の高機能ビデオ編集ソフトです。

  特長
  - HDV や 16：9 映像に対応し、特殊効果のタイトルや字幕作成
  - マジックフィックスで手ブレやシャープネスを補正
  - マジッククリーンで光量やノイズ音声を補正
  - トランジションでビデオの特殊効果やシーンの切替え

- **書き込みソフト.................... Power2Go(☞ 26 ページ)**

  BD から DVD や CD のディスクまで対応した、多彩な機能の書き込みソフトです。

  特長
  - ファイル暗号化とパスワードでデータを保護
  - ドラッグ＆ドロップするだけの簡単書き込み
  - 音楽 CD から MP3 や WMA ファイルを作成
  - データディスクのコピーや音楽 CD の作成

- **バックアップソフト .... PowerBackup(☞ 27 ページ)**

  パソコンのデータを圧縮し、BD や DVD のディスクにバックアップするソフトです。

  特長
  - 指定のファイルやデータを設定し、まとめて保存
  - 重要データを自動バックアップ
  - 独自のユーティリティーでデータを簡単復元
  - まとめた保存データをパスワードで保護

■ BD 用のドライバーソフト(BD ドライバー ☞ 25 ページ)

Blu-ray ディスクや DVD-RAM ディスクの記録・再生用のドライバーソフトです。

UDF1.5/2.0 に加えて、新たに BD の標準フォーマットである UDF2.5/UDF2.6 に対応しています。
追記型ディスクの BD-R もハードディスク感覚で扱えます。

本機はラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本製品の使用により、または故障により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
重要なデータに関しては、万一に備えてバックアップ(複製)を行ってください。

付属ソフトと使用ディスク

ディスク	サポート形式（ディスクフォーマット）	ソフト名（バージョン等は省略しています）					
		BD ドライバーソフト	Power Producer	Power Director	PowerDVD	Power Backup	Power2Go
BD-R	UDF	リード/ライト					作成※4
	データBD（ISO 9660）						作成※4
	UDF Bridge					対応	
	BDAV		作成/編集	作成	再生		
	BDMV		作成	作成	再生		
BD-RE	UDF/FAT32	リード/ライト					作成※4
	データBD（ISO 9660）						作成※4
	UDF Bridge					対応	
	BDAV		作成/編集	作成	再生		
	BDMV		作成	作成	再生		
DVD-RAM	UDF/FAT32	リード/ライト					作成※4
	データDVD（ISO 9660）						作成※4
	UDF Bridge					対応	
	VR※1		作成/編集		再生		
DVD-R /R DL	UDF						作成
	データDVD（ISO 9660）						作成
	UDF Bridge					対応	
	DVD-Video※2		作成	作成	再生		作成
+R/R DL	UDF						作成
	データDVD（ISO 9660）						作成
	UDF Bridge					対応	
DVD-RW	UDF						作成
	データDVD（ISO 9660）						作成
	UDF Bridge					対応	
	DVD-Video※2		作成	作成	再生		作成
	VR		作成/編集		再生		
+RW	UDF						作成
	UDF Bridge					対応	
	VR		作成/編集		再生		
CD-R	データCD（ISO 9660）					対応	作成
	音楽 CD				再生		作成
	Video CD※3		作成	作成	再生		
CD-RW	データCD（ISO 9660）					対応	作成
	音楽 CD				再生		作成
	Video CD※3		作成	作成	再生		

付属ソフトの各機能において、コピープロテクト（CPRM や AACS など）の掛かったコンテンツの複製やデータの取り込みなど（不正コピー、改ざんなど）については対応していません。

※ 1 ～ 4 については次ページを参照ください。

※１ 本機と PowerProducer の組み合わせで作成した DVD フォーラム策定のビデオレコーディング規格準拠 DVD-RAM ディスクは、DVD-RAM 再生とビデオレコーディング規格に対応した DVD プレーヤーや DVD レコーダーで再生できます。また、ビデオレコーディング再生のアプリケーションソフトを使うと、DVD-RAM 再生に対応した DVD-ROM ドライブや DVD-RAM ドライブなどでも再生できます。ただし、すべての装置での再生を保証するものではありません。

※２ DVD-R/R DL、+R/R DL、DVD-RW 再生に対応した DVD プレーヤーで再生できます。また、DVD-Video 再生のアプリケーションソフトを使うと、DVD-RAM ドライブや DVD-ROM ドライブなどでも再生できます。
ただし、すべての装置での再生を保証するものではありません。

※３ 本機と PowerProducer の組み合わせで作成した Video CD 形式の CD-R、CD-RW ディスクは、CD-R、CD-RW ディスクの再生と Video CD Ver. 2.0 に対応した装置で再生できます。ただし、すべての装置での再生を保証するものではありません。

※４ 本機と Power2Go との組み合わせの記録に関する詳細は 12 ページの「BD-R/BD-RE/DVD-RAM への書き込み方法」を参照ください。

当社製 レコーダー（BD/DVD）で記録したディスクに関するお知らせ

当社製レコーダーで録画された「デジタルハイビジョン放送（衛星放送や地上波デジタル放送）」を記録したディスク（BD-R/RE、DVD-RAM/R）は「CPRM」や「AACS」「ダビング 10」などで著作権保護（一世代だけ録画を許可）されています。

- パソコンで再生するにはそれぞれに、対応したドライブと再生ソフト（PowerDVD など）や PC 環境が必要です。
- DVD-RAM や DVD-R ディスクのコピーは、対応したソフト（PowerProducer の「ディスクコピー」）をお使いください。ただし、著作権保護されたディスクのコピーはできません。
- 著作権保護された BD-R/RE はコピーや編集はできません。

もくじ

はじめによくお読みください

使う前の準備

使いかた

もし必要なとき

安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

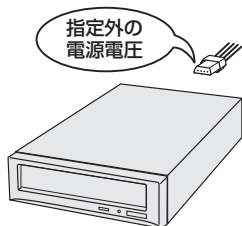
■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

⚠ 警告

電源について

DC 5 V/12 V 以外の電源電圧を使用しない

禁止

火災や感電の原因になります。

もし異常が起こったら

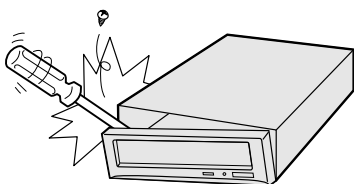
異常が発生したら、本機を組み込んだパソコンの電源を切る

- 煙が出ている、異臭・異音がする
- 異常に熱い
- 本体が破損した
- 本体内に異物が入った

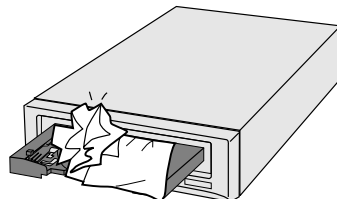
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 使用を中止し、販売店へご相談ください。

ご使用について

本機の分解や改造は絶対にしない（本体カバーを外すなど）

分解禁止

火災や感電の原因になります。
- 修理は販売店にご相談ください。

本機の内部に金属類や燃えやすいものを入れない

禁止

火災や感電の原因になります。

⚠注意

設置について

直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない

禁止

本機の内部温度が上昇して、火災の原因になります。

湿気やほこりの多い場所や加湿器のある場所に置かない

禁止

火災や感電の原因になります。

ご使用について

ひび割れや変形補修したディスクは使用しない

禁止

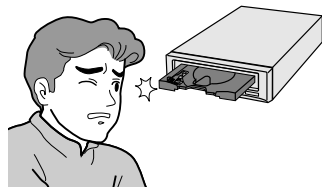
本機の内部で飛び散って、故障やけがの原因になります。

トレイに手を入れ、挟まれないよう注意する

指に注意

けがの原因になります。

シャッターのすき間から内部をのぞき込まない

禁止

内部のレーザー光線を直視すると、視力障害を起こす原因になります。

ディスクの回転中に本機を組み込んだパソコンを動かしたり、持ち上げたりしない

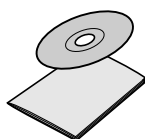
禁止

ディスクを傷つける原因になります。

付属品のご確認

お確かめください。

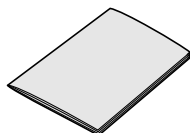
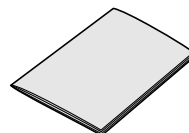
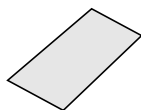
ご使用いただく前に、次の物がそろっているか確認してください。
万一不足の品がありましたら、お手数ですがお買い上げの販売店までご連絡ください。

□ CD-ROM
- アプリケーションソフト
- BD ドライバー
- 本機及び各社電子マニュアル

□ ケース(クイックガイド)

〔ケースにシリアル番号(CD-Key)があります〕

□ 取付ネジ(4 個)

□ 強制イジェクトピン

□ CyberLink Blu-ray Disc Suite クイックガイド

□ 取扱説明書(本書)

□ 保証書

保証書は大切に保管してください
本機のサポートを受けるには保証書記載の、製造番号が必要となります。

- イラストは現物と一部異なる場合があります。
- 付属品の内容は予告なく変更される場合があります。

付属品は販売店でお買い求めいただけます。販売店へご注文ください(付属品はサービスルート扱いとなります)。

パナソニックグループのショッピングサイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

Pana Sense　http://www.sense.panasonic.co.jp/

使用できるディスクについて

BD メディア

■ディスクの種類とデータ転送速度

1 倍速＝ 4.5 MB/s

ディスク		書き込み速度	読み出し速度
BD-R	50 GB（2 層）、25 GB（1 層）Ver.1.1/1.2/1.3	8 倍速※	8 倍速※
BD-RE	50 GB（2 層）、25 GB（1 層）Ver.2.1	2 倍速	2 倍速
BD-ROM	50 GB（2 層）、25 GB（1 層）Ver.1.3	−	8 倍速

BD-R： 一度だけ書き込みが可能なブルーレイディスクです。
BD-RE： 繰り返してデータの書き込みができるブルーレイディスクです。
BD-ROM：映画タイトルなどの、読み出し専用のブルーレイディスクです。
※ 8 倍速での記録・再生は、6 倍速対応のディスクのみ可能です。（すべてのディスクを保証するものではありません）

DVD メディア

■ディスクの種類とデータ転送速度

1 倍速＝ 1350 KB/s

ディスク		書き込み速度	読み出し速度
DVD-RAM	9.4 GB（両面）、4.7 GB（片面）	最大 5 倍速	最大 5 倍速
	2.8 GB（両面）、1.4 GB（片面）[8 cm ディスク]	2 倍速	2 倍速
DVD-ROM	シングルレイヤー（1 層）	−	最大 16 倍速
	デュアルレイヤー（2 層）	−	最大 8 倍速
DVD-Video	4.7 GB（1 層）、8.5 GB（2 層）	−	最大 6 倍速
DVD-R	4.7 GB（for General）Ver.2.0/2.1	最大 16 倍速	最大 16 倍速
	4.7 GB（for Authoring）Ver.2.0	−	最大 16 倍速
	3.95 GB（for Authoring）Ver.1.0	−	最大 16 倍速
DVD-R DL	8.5 GB Ver.3.0	最大 8 倍速	最大 8 倍速
+R	4.7 GB Ver.1.0/1.1/1.2/1.3	最大 16 倍速	最大 16 倍速
+R DL	8.5 GB Ver.1.0/1.1	最大 8 倍速	最大 8 倍速
DVD-RW	4.7 GB Ver.1.1	1 倍速	最大 8 倍速
	4.7 GB Ver.1.2	最大 6 倍速	最大 8 倍速
+RW	4.7 GB Ver.1.1/1.2/1.3	最大 4 倍速	最大 8 倍速
	4.7 GB High Speed Ver.1.0	最大 8 倍速	最大 8 倍速

DVD-RAM： 繰り返してデータの書き込みができる（リムーバブル）DVD です。
本機は DVD-RAM の 5.2 GB/2.6 GB ディスク、及び RAM2 マーク表示のあるディスクには対応していません。
DVD-ROM： 読み出し専用の DVD です。映画などの映像を記録したものが DVD-Video です。
DVD-R、+R： 一度だけ書き込みが可能な DVD です。DVD-R において for General は一般お客様用ですが、for Authoring は業務用ですので一般販売店では購入できません。
DVD-RW、+RW： 書き込んだデータ全体または最後のボーダーが消去でき、再度書き込みや書き換えが可能な DVD です。
DVD-R DL、+R DL： 記録面（片面）が 2 層式の DVD-R、+R メディアです。
本機で記録した DVD-R DL、+R DL の再生には、DVD-R DL、+R DL に対応したドライブやプレーヤーが必要です。
※カートリッジタイプ（BD、DVD-RAM など）は使用できません。

■DVD-R/R DL/RW、+R/R DL/RW の書き込み方式

ディスクアットワンス： ディスク全体に一度にまとめてデータを書き込む方式です。後から追加書き込みをすることはできません。
インクリメンタル： データを「パケット」と呼ばれる細かい単位に分割して書き込む方式です。パケットライト方式で記録をするソフトはパケットライトソフトと呼ばれ、これを使うと、ハードディスクなどと同じようにファイル単位での書き込みが可能となります。

BD-R/BD-RE/DVD-RAM への書き込み方法

1.BD ドライバー（☞ 25 ページ）がインストールされていれば、エクスプローラ上でのドラッグアンドドロップ操作やアプリケーション上から直接保存（ハードディスクのような使い方）ができます。

2.Power2Go を使うと、
・追加書き込みができます。
・Power2Go で書き込まれた BD-R/BD-RE/DVD-RAM ディスクには、エクスプローラや他のアプリケーションで書き込みできません。

CD メディア

■ディスクの種類とデータ転送速度

1 倍速＝ 150 KB/s

ディスク		書き込み速度	読み出し速度
CD-ROM		−	最大 48 倍速
CD-R		最大 48 倍速	最大 48 倍速
CD-RW	1 − 4 倍速	4 倍速	最大 32 倍速
	4 − 12 倍速(High Speed)	10 倍速	
	8 − 24 倍速(Ultra Speed)	最大 24 倍速	

CD-ROM： 読み出し専用の CD です。

CD-R： 一度だけ書き込みが可能な CD です。一度書き込んだデータの消去や書き換えはできません。書き込みモードによっては、空き領域に追加書き込みが可能です。

CD-RW： 書き込んだデータ全体または最後のセッションが消去でき、再度書き込みや書き換えが可能な CD です。本機は Ultra Speed ディスクにも対応しています。

■CD の対応フォーマット

CD-DA（音楽 CD）： 音楽 CD のフォーマットです。

CD-ROM： デジタルデータを記録するためのフォーマットです。

CD-ROM XA： マルチメディアに適したフォーマットで、データと音声･画像を混在させたフォーマットです。

CD-EXTRA： 1 つ目のセッションにオーディオデータを書き込み、2 つ目以降のセッションに XA Mode2 のデータを記録するフォーマットです。

CD TEXT： 音楽 CD にアルバムタイトルや曲名などの文字情報を記録するフォーマットです。

Photo CD： 写真のイメージデータを CD-ROM に記録し、家庭用テレビで再生したり、コンピュータで使用したりするためのもので、Kodak 社が開発したフォーマットです。

Video CD： 映画などの動画を MPEG1 方式で圧縮して CD に収めたタイトル、またはそのフォーマットのことです。

■CD-R/RW の書き込み方式

ディスクアットワンス： ディスク全体に一度にまとめてデータを書き込む方式です。後から追加書き込みをすることはできません。

トラックアットワンス： トラック単位でデータを書き込む方式です。ディスクに空き容量が残っている限り、最大 99 回までの追加書き込みが可能です。

セッションアットワンス： セッション (リードイン＋データ＋リードアウト) 単位でデータを書き込む方式です。

マルチセッション： データの記録単位である「セッション」が複数記録されており、記録開始の目印である「リードイン」、データ本体、および記録終了の目印である「リードアウト」で構成されています。

パケットライト： データを「パケット」と呼ばれる細かい単位に分割して書き込む方式です。パケットライト方式で記録をするソフトはパケットライトソフトと呼ばれ、これを使うと、ハードディスクなどと同じようにファイル単位での書き込みが可能となります。

推奨メディア

下記メーカー製のディスクを推奨します。（2008 年 10 月 1 日現在）

BD-R/BD-RE：　パナソニック（株）、ソニー（株）、TDK（株）、太陽誘電（株）
DVD-RAM：　パナソニック（株）、日立マクセル（株）
DVD-R for General：　パナソニック（株）、太陽誘電（株）、三菱化学メディア（株）、日立マクセル（株）
DVD-R DL：　三菱化学メディア（株）
+R：　太陽誘電（株）、三菱化学メディア（株）、日立マクセル（株）
+R DL：　三菱化学メディア（株）
DVD-RW：　三菱化学メディア（株）
+RW：　三菱化学メディア（株）
CD-R：　太陽誘電（株）、ソニー（株）、TDK（株）
CD-RW：　三菱化学メディア（株）

※ パナソニック（株）製ディスクについては裏表紙をご覧ください。

使用上のお願い

本機の取り扱いについて

■ 設置するときは…

● 本機及びケーブルの端子部分に触れない。
また、本機とケーブルの接続は正しく確実に行う。
（故障の原因になります）

● 水平または垂直で使用する。

■ 移動や輸送するときは

● 本機を組み込んだパソコンを移動するときは、ディスクを取り出し、トレイを閉じた後、必ずパソコンの電源を切る。

● 本機を組み込んだパソコンを移動や輸送するときは、落としたり、ぶつけたりしない。

■ 使用するときは

● 本機を組み込んだパソコンを動作中に動かさない。
（故障の原因になります）

● トレイを出したまま放置しない。（内部にほこりが入り、故障の原因になります）

● トレイに DVD-RAM ディスク、指定のディスク以外のものを装着しない。（故障の原因になります）

● 8 cm ディスクを使用するときは市販の 8 cm アダプターは使用しない。

● 無理にトレイを引き出さない。（故障の原因になります）

● 本機に磁石など磁気を持つものを近づけない。（磁気の影響で、動作が不安定になることがあります）

● 本機が結露した状態で使用しない。
（寒い場所から暖かい場所へ急に持ち込むと、水滴が付着（結露）し、誤動作、故障の原因になります。ディスクを取り出し、約 1 時間放置した後、ご使用ください）

● 揮発性の殺虫剤などがかからないようにする。（外装ケースの変形や印刷などがはげる原因になります）

● 隣接して使用しているラジオやテレビに雑音が入るときは、2 m 以上離すか、コンセントを別にする。

お手入れについて

■ 本機表面のお手入れについて

● パソコンの電源を切る。

● よごれはやわらかい乾いた布で軽くふき取る。

● よごれがひどいときは、うすめた台所用洗剤（中性）に布をひたし、よくしぼってからふく。

● 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

● ベンジンやシンナーなどの溶剤を使わない。

■ トレイ部のお手入れについて

● 本機のトレイ部の汚れがひどいときは、トレイ部の清掃をお願いします。

● トレイ部の汚れは、やわらかい乾いた布で清掃してください。

● 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

ディスクの取り扱いについて

- カートリッジタイプは本機では使用できません。
- 正しく取り扱いをしないとデータの書き込みが正常に行われない、すでに記録されているデータが損なわれる、ドライブが故障する、などの障害が発生する場合があります。
- BD-R/RE、4.7 GB DVD-RAM ディスクのカートリッジなし、および TYPE2、TYPE4 カートリッジから取り出したディスクや 8 cm DVD-RAM ディスク、DVD-R(for General)、DVD-RW(4.7 GB Ver.1.1)、CD-R、CD-RW ディスクをご使用の際は本説明書やご使用のディスクの取扱説明書をよくお読みのうえご使用ください。
- 本機に装着した BD-R/BD-RE/DVD-RAM ディスクにフォーマットや記録ができない場合、いくつかの原因が考えられます。詳細は 40 ページをご覧ください。
- 記録型ディスクの記録面に、指紋や汚れ、ほこり、傷などがつくと、記録済みのデータが読めなくなったり、記録できなくなる場合がありますのでご注意ください。
- 本製品の使用により、または故障により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、当社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
  重要なデータに関しては、万一に備えてバックアップ(複製)を行ってください。

DVD-RAM ディスクの種類

DVD-RAM ディスクには、以下のタイプがあります。

- **TYPE1**…カートリッジからのディスクの取り出しはできません。(本機では使用できません)
- **TYPE2**…カートリッジが片面タイプで、カートリッジからのディスクの取り出しができます。
- **TYPE4**…カートリッジが両面タイプで、カートリッジからのディスクの取り出しができます。
- **カートリッジなし**

※ 16 ページのディスクのイラストはパナソニック(株)製 12 cm ディスクについて説明しています。
他のディスクをご使用の場合はその取扱説明書をご覧ください。

使用上のお願い（つづき）

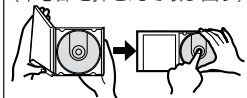
ディスクの取り扱いについて

BD-R、BD-RE、カートリッジなし DVD-RAM 、DVD-R(for General)、DVD-R DL、+R、+R DL、DVD-RW、+RW、CD-R、CD-RW ディスク

次のようなところには置かない

- ごみやほこりの多い場所。
- 温度、湿度の高い場所、直射日光が当たる場所。
- 温度差の激しい場所。（結露が生じます）

取り扱い上のお願い（※印の注意文は、BD-R/BD-RE/DVD-RAM に適用されます）

ケースからの出しかた
（中心部を押さえて取り出す）

ケースへの入れかた
（ラベル面を上から押さえて入れる）

持ちかた（ラベル印刷面の反対面に触れない）

- ディスクをケースから取り出すときは、中心部を押さえて取り出してください。ケースへ収めるときは、ディスクのラベル印刷面を上から押さえて入れてください。
- ディスクは、指でディスク中央の穴の部分と外側をはさむようにして持ってください。
- ディスクの記録面に触らないでください。
  ディスクは、印刷がされていないほうが記録面です。
- ディスクの表面は、ごみやほこり、指紋などで汚したり、傷つけたりしないでください。

  また、落としたり、曲げたり、紙を貼ったりしないでください。（書き込み速度が低下したり、記録したデータが読めなくなる原因になります）
-
  ディスクの印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンを使用してください。ボールペン、鉛筆などの先の硬いものは、使用しないでください。
- キズや汚れからディスクを保護するために、未使用時は短時間であっても必ず保護ケース、またはカートリッジに収めてください。
- ディスクを落としたり、重ねたり、また、ディスクにものを載せたり、衝撃を与えたりしないでください。ディスクに無理な力を加えると、データの信頼性が保てなくなります。

※ ● 大切なデータを保護するときは、必ずライトプロテクトを設定してください。ライトプロテクトを設定するには、付属の CD-ROM に準備されているユーティリティをお使いください。（☞ 39 ページ）

- ディスクのドライブへの入れ方は、CD や DVD-ROM ディスクと同じ方法でトレイへセットしてください。

BD-ROM、DVD-ROM、CD-ROM などのディスク

次のようなところには置かない

- 温度、湿度の高い場所、直射日光の当たる場所。
- 温度差の激しい場所。（結露が生じます）

取り扱い上のお願い

- 汚したり、傷つけたりしない。
- 落としたり、曲げたりしない。
- 字を書いたり、紙を貼らない。
- ケースからの出しかた、ケースへの入れかたについては、上記カートリッジなし DVD-RAM ディスク等と同じです。

汚れたときは（水を含ませた柔らかい布でふいた後、乾いた布でふく。必ず内から外へふく。）

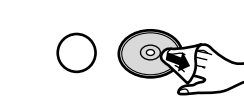
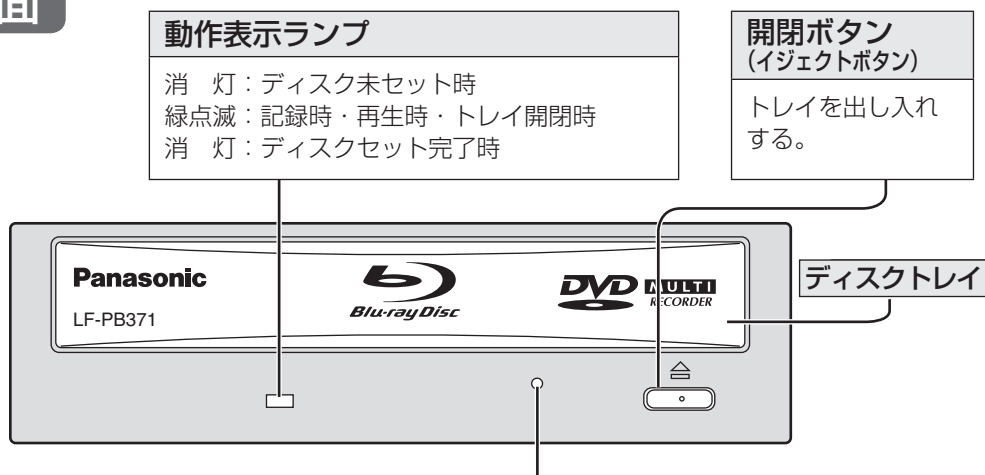
各部のなまえとはたらき

本機前面

動作表示ランプ

消　灯：ディスク未セット時
緑点滅：記録時・再生時・トレイ開閉時
消　灯：ディスクセット完了時

開閉ボタン
(イジェクトボタン)

トレイを出し入れする。

強制イジェクトホール

トレイが出なくなったときに使用します　<u>**通常は使用しないでください。(故障の原因になります)**</u>

■ トレイの引き出しかた

① 必ずパソコンの電源を切る
② 強制イジェクトピン(付属)をまっすぐ押し込む
(徐々にトレイが出てきます)
③ 強制イジェクトピンを抜き取る
④ トレイの端を指先で水平に引き出す

■ 引き出したトレイの戻しかた

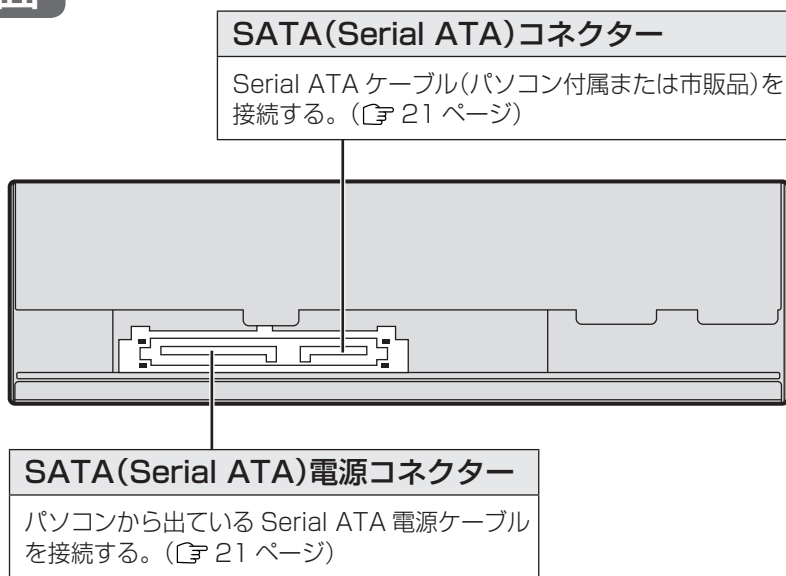
① パソコンの電源を入れる
② 開閉ボタンを押す
(引き出し位置によっては電源を入れると同時にトレイが戻るときもあります)

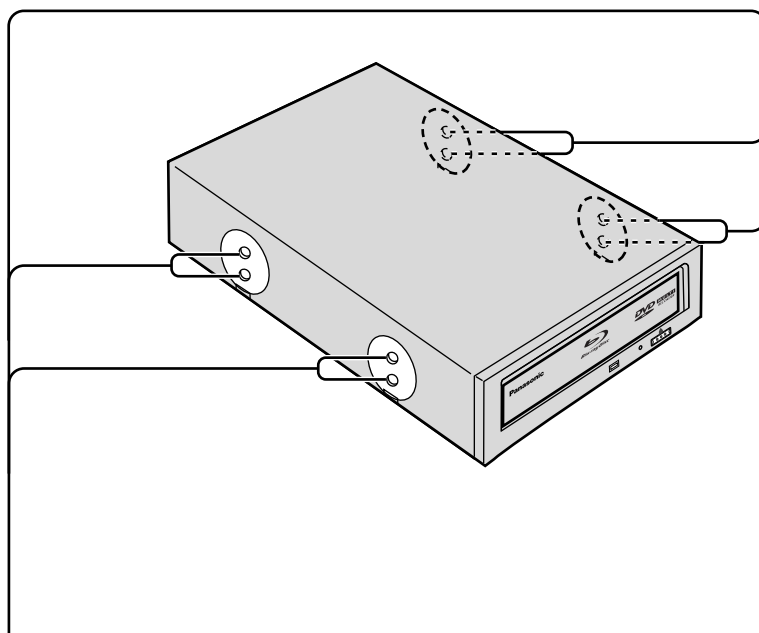
本機後面

SATA(Serial ATA)コネクター

Serial ATA ケーブル(パソコン付属または市販品)を接続する。(☞ 21 ページ)

SATA(Serial ATA)電源コネクター

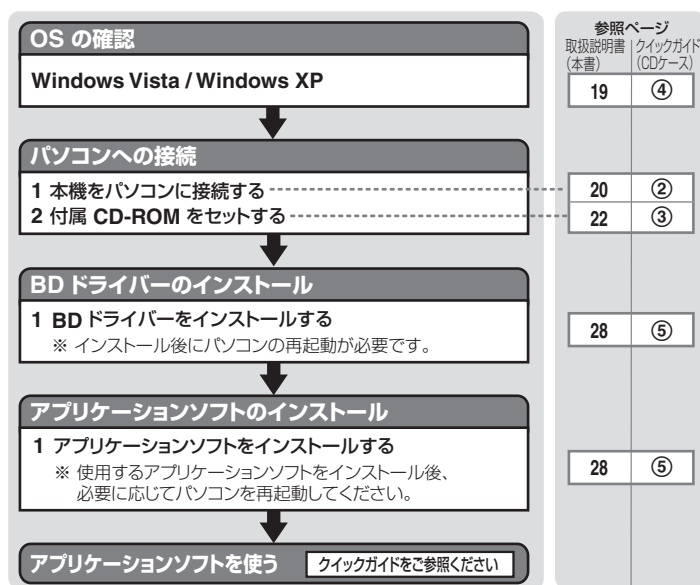
パソコンから出ている Serial ATA 電源ケーブルを接続する。(☞ 21 ページ)

各部のなまえとはたらき（つづき）

本機側面

取付ネジ穴（左右側面）

本機をパソコンなどに固定するとき、この穴に
取付ネジ（付属）を使って固定します。
上、下いずれかの穴を使用します。
（底面の 4 ヵ所のネジ穴でも固定できます）

ご使用いただくための手順とながれ

お願い

● Windows XP では、Administrator(管理者)グループに所属したユーザー名でログオンして、インストールしてください。

BD ドライバー：　BD-R/BD-RE/DVD-RAM ディスクの読み書きを行うためのドライバーです。

Windows のバージョンを確認する

本機は Windows Vista/Winwdows XP(Service Pack 2 以降)用です。Windows のバージョンによっては操作が異なる場合がありますので、事前にバージョンをお確かめください。

タスクバーから[スタート]をクリックし、[マイコンピュータ]または[コンピュータ]を右クリックして[プロパティ]をクリックすると、Windows のバージョンが表示されます。
以下の表示があることを確認してください。

OS およびバージョンの表示

OS	表示内容
Windows Vista の場合※	Windows Vista Home Basic、Windows Vista Home Premium、Windows Vista Business、Windows Vista Ultimate
Windows XP の場合	Windows XP Professional※　Version 200∗ Service Pack 2 Windows XP Home Edition　Version 2002 Service Pack 2

※ 32bit または 64bit OS　　　∗ OS によって数値が異なります

お知らせ

● 本機は、上記 OS の日本語版以外(サーバー用 OS や、Windows NT、Windows Me、Windows 2000 などを含む)には対応していません。

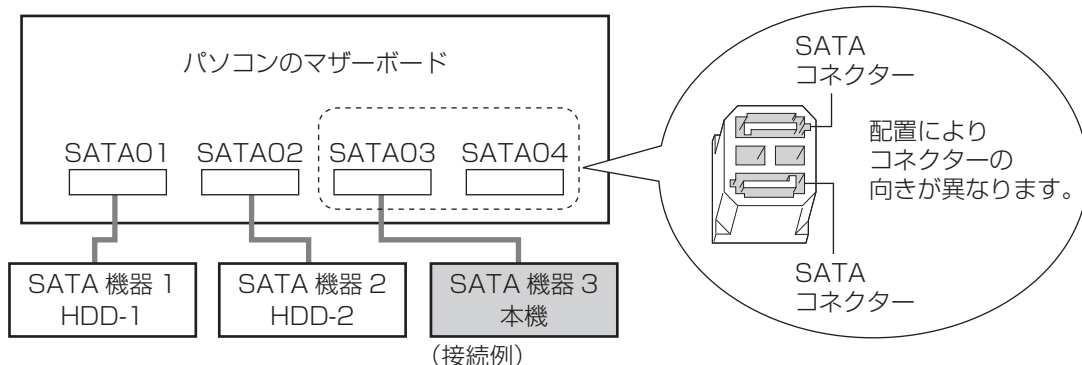
取り付けと接続

接続について

本機は、高速データ転送が可能なSATA(Serial ATA)対応でパソコンとの接続も簡単です。

■接続例

- パソコンのマザーボードには、複数のSATA接続コネクターが設置されております。
  SATA機器はIDE機器と違って、1つのコネクターに1台を接続します。
  (コネクター番号の若い順にハードディスク、光ドライブの順で接続されることをお勧めします。)
- 接続についての詳細は、パソコンまたはマザーボードの説明書をご覧ください。
  ケーブルの接続時はコネクターの向きに注意してください。無理に差し込むとコネクターが破損します。
  また、コネクターやケーブルによっては抜けやすいものがありますので、しっかり差し込んでください。

(接続例)

取り付けと接続のしかた

接続についてのお願い

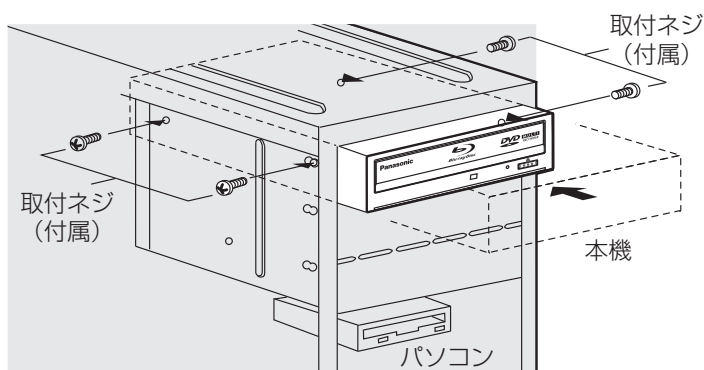
- 本機をパソコンに組み込む場合の、取り付け方や注意事項については、ご使用のパソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。(不明な点はパソコンをお買い上げの販売店にご相談ください。)
- 取付の前にパソコン本体の電源スイッチを切り、パソコンの電源コードを抜いてください。
  (電源が入った状態では、接続はしないでください。)
- 振動や衝撃のある場所、傾斜した場所では使用しないでください。

パソコンの電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

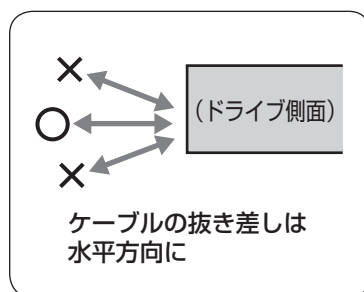
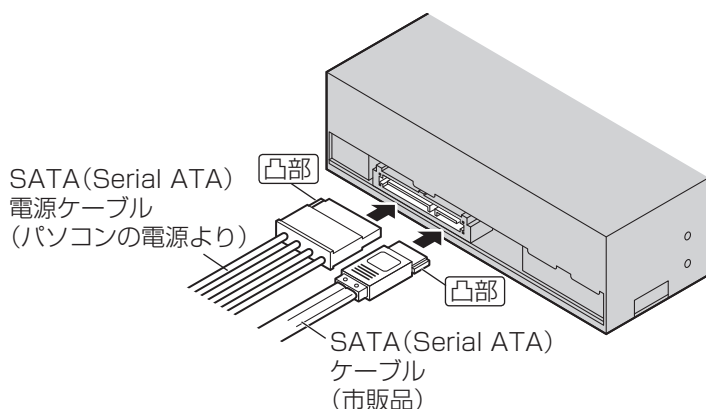
1 本機をパソコンに取り付ける

- 取付ネジ穴は、本機の左右側面に8ヵ所、底面に4ヵ所あります。
  4個の取付ネジ(付属)で左右側面または底面のいずれかの取付ネジ穴を使用して、確実に固定してください。

お願い

- 付属のネジ以外は使用しないでください。
  (長さや径の異なるネジを使用すると、故障の原因になります。)

2 SATA(Serial ATA)ケーブルを接続する

SATA 電源ケーブルを本機に、SATA ケーブルを本機とマザーボードに接続する
(ケーブルは付属していません。パソコンの付属品または、市販品をご使用ください。)

- 各ケーブルは、正しい向きで確実に差し込んでください。(ケーブルによっては抜けやすいものがあります。)
- 抜き差しはコネクターと水平に抜き差ししてください。(無理な力を加えるとコネクターを破損する場合があります。)

お知らせ

- **接続について**
  Serial ATA 電源ケーブルの**凸部が左側**、Serial ATA ケーブルの**凸部が右側**になるように挿入します。
  逆向きでは差し込めないようになっていますが、無理に差し込むとコネクターが損傷します。
  また、傾いていたり、逆向きの接続で電源を入れると、本機やパソコンのマザーボードなどを破損する場合があります。

3 接続を確認する

組み立てが終わったら、パソコンを起動し本機にディスクを入れないで、「コンピュータ」または「マイコンピュータ」を開き、ドライブ表示の追加を確認する

- ドライブのアイコンが 1 つ追加されていれば、本機を使用できます。

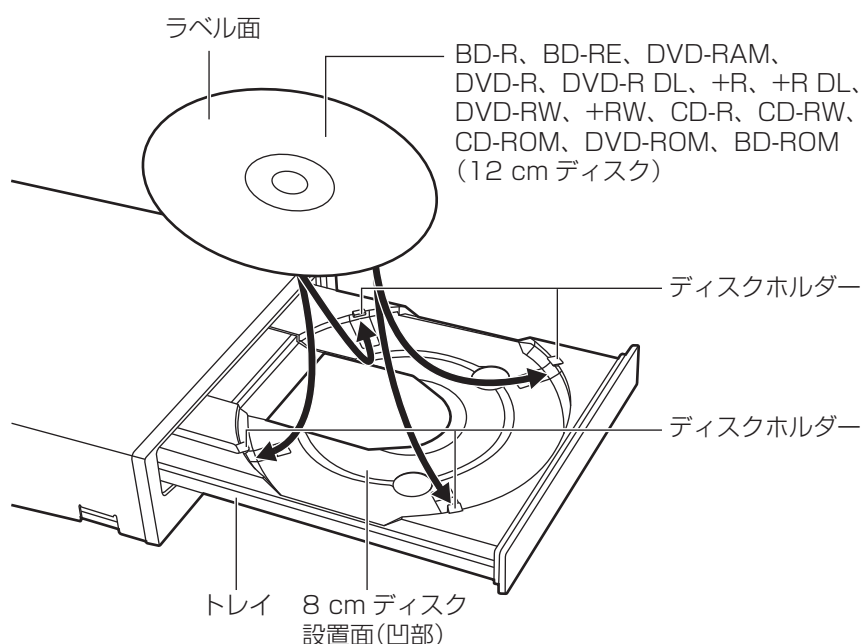
お知らせ

- ドライブのアイコン表示が追加されていなければ [Ctrl] + [R] を押して表示の更新を行ってください。
- 表示の更新を行っても、ドライブのアイコンが追加されてない場合は、BIOS 設定での SATA 設定変更やコントローラ(AHCI など)の設定変更が必要です。
  ご使用のパソコンまたはマザーボードの取扱説明書をご覧ください。

ディスクの入れかた

本機を横に設置した場合

■ BD-R/RE、DVD-RAM、DVD-R、+R などのディスク

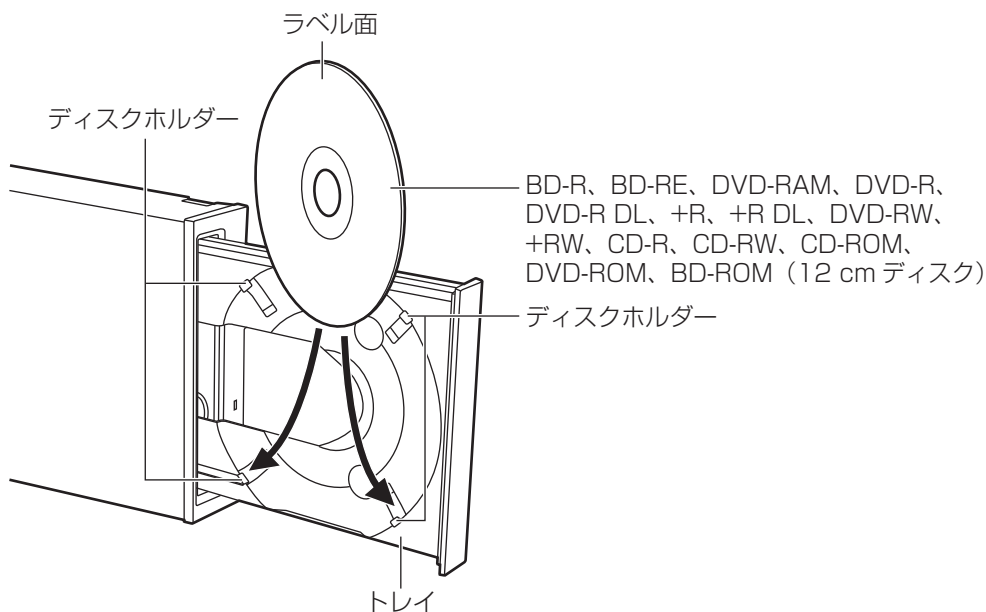
- 8 cm ディスクは、トレイの内側のディスク設置面(凹部)にセットしてください。
- 12 cm ディスクは、四隅にあるディスクホルダーの内側に収まるようにセットしてください。
- ディスクがディスクホルダーの上に載っていたりなどして、正しくセットされていない場合は、正常に動作しません。また、ディスクを損傷させる原因となります。
- カートリッジ式の 12 cm/8 cm DVD-RAM ディスクを本機に入れる場合、必ずカートリッジから取り出して、裸の状態にしてください。ディスクの取り出しかたは、ご使用のディスクの取扱説明書をご覧ください。

使用できるディスク

	横に設置	縦に設置
12 cm ディスク	○	○
8 cm ディスク	○	×

本機を縦に設置した場合

■BD-R/RE、DVD-RAM、DVD-R、+R などのディスク

8 cm ディスクは使えません。(市販の 8 cm アダプターにつけても使えません)

● ディスクが下側の 2 つのディスクホルダーの内側にかかるように縦方向にセットしてください。

お願い

● 動作表示ランプ点灯中(緑)は、パソコンの電源を切ったり、ディスクを取り出さないでください。データが壊れたり、正しく書き込まれないおそれがあります。
● トレイにディスク(12 cm、8 cm)を 2 枚以上同時にセットしないでください。ディスクに傷がつきます。また、本機の故障の原因にもなります。

ソフトウェアのインストール

ソフトウェアをインストールする前に、下記の「ソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みください。
「ソフトウェア使用許諾契約書」に合意いただけた場合のみ、本ソフトウェアをお使いいただけます。
また、本ソフトウェアのインストールを実行した場合は、「ソフトウェア使用許諾契約書」に合意いただいたものといたします。

ソフトウェア使用許諾契約書

第 1 条　権　利

お客様は、本ソフトウェア(付属の CD-ROM や本書などに記録または記載された情報のことをいいます)の使用権を得ることはできますが、著作権がお客様に移転するものではありません。

第 2 条　第三者の使用

お客様は、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびそのコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。

第 3 条　コピーの制限

本ソフトウェアのコピーは、保管(バックアップ)の目的のためだけに限定されます。

第 4 条　使用コンピュータ

本ソフトウェアは、コンピュータ 1 台に対しての使用とし、複数台のコンピュータで使用することはできません。

第 5 条　変更及び改造

本ソフトウェアの解析、変更または改造を行わないでください。お客様の解析、変更または改造により、何らかの欠陥が生じたとしても、弊社では一切の保証をいたしません。また解析、変更または改造の結果、万一お客様に損害を生じたとしても弊社および販売店等は一切の責任を負いません。

第 6 条　アフターサービス

お客様が使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社 P^3 カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。お問い合わせの本ソフトウェアに関して、弊社が知り得た内容の誤り(バグ)や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。

なお、下記ソフトウェアに関しては、ソフトメーカーのユーザーサポート部門にお問い合わせください。

- CyberLink Blu-ray Disc Suite(PowerDVD、PowerProducer、PowerDirector、Power2Go、PowerBackup)のお問い合わせ先(☞ CyberLink Blu-ray Disc Suite クイックガイドに記載)

第 7 条　免　責

本ソフトウェアに関する弊社の責任は、上記第 6 条のみとさせていただきます。本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する請求については、弊社および販売店等は一切の責任を負いません。

第 8 条　その他

上記第 6 条のアフターサービスには、ユーザー登録が必要です。(☞ 28 ページ)

本製品には、以下のソフトウェアが付属されています。

1. BD ドライバーソフト

BD-R/BD-RE/DVD-RAM ディスクの読み書きを行うためのドライバーです。以下のユーティリティも含まれています。（他のアプリケーションソフトより先にインストールしてください。（☞ 28 ページ））

■ フォーマットソフト（DVDForm）

BD-RE/DVD-RAM ディスクを UDF 形式や FAT32 形式にフォーマットしたり、BD-R を UDF 形式にフォーマットするソフトウェアです。

■ ライトプロテクトツール（WPTool）

BD-R/BD-RE/DVD-RAM ディスクのソフトウェアライトプロテクトの設定／解除をするソフトウェアです。

2. アプリケーションソフト

アプリケーションソフトは必要に応じてインストールしてください。

（画像は参考画像です（実際の表示と一部異なる場合があります）。ソフトの仕様やデザインは改良などのため、予告無く変更される場合があります。）

■ BD から CD まで対応の統合ソフト（CyberLink Blu-ray Disc Suite）

BD から DVD や CD の各ディスクに対応した、ビデオ編集から記録・再生までの各アプリケーションを統合したソフトです。
記録系［BD-R/BD-RE、DVD-RAM/R/R DL/RW、+R/R DL/RW、CD-R/RW 対応］
再生系［記録系メディアと、BD・DVD・CD の ROM（ビデオや音楽などのタイトルディスク）対応］

CyberLink PowerStarter の統合ランチャーメニューで、やりたいことを選択していくことで、用途に応じたソフトが起動します。CyberLink Blu-ray Disc Suite は以下のソフト（次のページ）で構成されています。

● **ビデオや音楽の再生ソフト.... PowerDVD［映像系（再生）］**

市販の BD や DVD のビデオから音楽 CD まで対応した、多彩なプレーヤーソフトです。

特長
- BD タイトルの BONUS VIEW や BD-LIVE に対応
- DVD ビデオの SD 画質映像を高画質で再生
- AVCREC など幅広いフォーマットに対応
- ショートカット、ブックマークなど便利なツールで簡単操作
- CPRM や AACS の著作権保護にも対応

※ BD タイトルの映像を取り扱う（デジタル出力する）には、HDCP に対応したディスプレイとグラフィックボードが必要です。
※ BONUS VIEW や BD-LIVE を楽しむには、対応した BD タイトルが必要です。また、BD-LIVE を利用するにはインターネット接続と 1 GB 以上の記憶容量が必要です。
※ CPRM で著作権保護された映像を再生するには、最初にインターネット接続での認証が必要です。
AACS での著作権保護のため、インターネット接続でのアップデートなどが必要となる場合があります。

● **ビデオ作成ソフト............ PowerProducer［映像系（記録・再生）］**

HD 映像素材に対応し、BD や DVD のディスクに高画質のホームビデオを作成するソフトです。

特長
- H.264 に対応し、AVCHD 形式の編集・ディスク作成
- スタイリッシュな DVD メニューやスライドショーを作成
- 自動画質調整でメディア一枚に収めるスマートフィット
- BD への BDAV（ビデオ）、BDMV（ムービー）形式の書き込み

※ CPRM で著作権保護された映像を取り扱うには、インターネット接続での認証が必要となる場合があります。

● **ビデオ編集ソフト............ PowerDirector［映像系（記録・再生）］**

ビデオの自動補正や自動編集もできる、HD ビデオ対応の高機能ビデオ編集ソフトです。

特長
- HDV や 16：9 映像に対応し、特殊効果のタイトルや字幕作成
- マジックフィックスで手ブレやシャープネスを補正
- マジッククリーンで光量やノイズ音声を補正
- トランジションでビデオの特殊効果やシーンの切替え

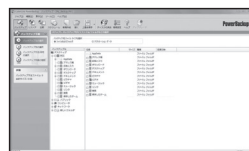
● **書き込みソフト............... Power2Go［データ系（記録）］**

BD から DVD や CD のディスクまで対応した、多彩な機能の書き込みソフトです。

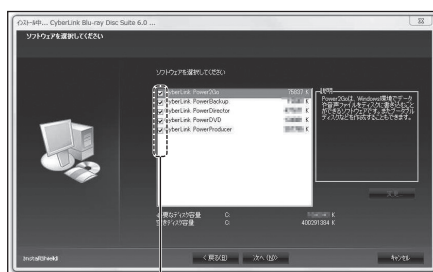
特長
- ファイル暗号化とパスワードでデータを保護
- ドラッグ＆ドロップするだけの簡単書き込み
- 音楽 CD から MP3 や WMA ファイルを作成
- データディスクのコピーや音楽 CD の作成

- **バックアップソフト......... PowerBackup［データ系（記録）］**

パソコンのデータを圧縮し、BD や DVD のディスクにバックアップするソフトです。

特長
- 指定のファイルやデータを設定し、まとめて保存
- 重要データを自動バックアップ
- 独自のユーティリティーでデータを簡単復元
- まとめた保存データをパスワードで保護

お知らせ

- **インストールソフトの選択について**

CyberLink Blu-ray Disc Suite のインストール時に、インストールするソフトを選択できます。
インストール時に右のソフトウェア選択画面が出たら、必要なソフトのみチェックを残し次へ進みます。
（後で必要になった場合は、同じ手順で必要なソフトを追加インストールできます。）

チェックを外すとインストールされません

- **BD 再生のチェックについて**

BD の映像タイトルを再生するには、再生に適したパソコン環境が必要です。
ソフトインストール後に、お使いのパソコン環境で BD 再生可能かどうか、「CyberLink BD Advisor」でチェックされることをお勧めします。「CyberLink BD Advisor」は CyberLink 社の自動チェックツールで、下記のインターネットアドレスから入手できます。（64 bitOS には非対応です。）

http://www.cyberlink.com/jpn/support/bdhd_support/bd_hdvd_index.jsp

ソフトウェアのインストール（つづき）

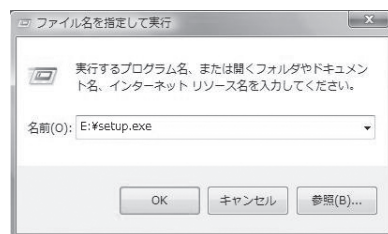
1 付属の CD-ROM を本機にセットする（☞ 22 ～ 23 ページ）

（自動的にインストールプログラムが起動します）

- 自動的にインストールプログラムが起動しない場合は、以下の手順で操作してください。
  （本機のドライブ名を、E ドライブと仮定します）

❶ [Windows] + [R] を押す

❷ [名前] 欄に [E:¥setup.exe] と入力する

❸ [OK] をクリックする
（インストールプログラムが起動されます）

- Windows Vista で「ユーザアカウント制御」の画面が表示される場合は [許可] または [続行] をクリックしてください。

2 下の画面が表示されたら、インストールするソフトウェアのボタンをクリックする

重 要

ソフトウェアについて

[はじめに] をクリックして、各添付ソフトウェアの紹介とインストール方法および、ユーザー登録時に必要なシリアル番号（CD-Key）などについての情報を確認してください。

ユーザー登録のお願い

- 本機や付属ソフトのユーザー登録を行ってください。ユーザー登録がない場合、サポートやバージョンアップ等のサービスが受けられない場合があります。
- ユーザー登録には、それぞれのシリアル番号（製造番号/CD-Key）などが必要です。
  本機のユーザー登録にはドライブ上面のラベル、または保証書に記載の製造番号が必要です。
  ソフトのユーザー登録ではインストール時に使用した、CD-Key などが必要です。
- 本機のユーザー登録は、上記画面の [ユーザー登録] をクリックするとインターネットで、ユーザー登録が行えます。

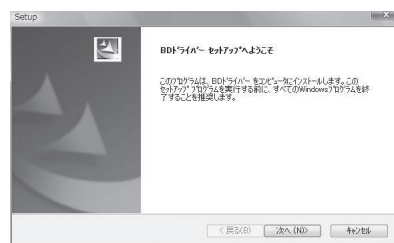
BD ドライバーソフトのインストール

お知らせ

- Windows XP では、Administrator（管理者）グループに所属したユーザー名でログオンして、インストールしてください。
- Windows Vista で「ユーザアカウント制御」の画面が表示される場合は［許可］をクリックしてください。
- BD ドライバーソフトのインストール後、続けて付属のソフトウェアをインストールするときは、再起動の段階で「いいえ、あとでコンピュータを再起動します。」を選択し、最後のソフトウェアをインストールした後で、コンピュータを再起動すると、再起動を 1 回だけにすることができます。

Windows Vista の場合

1 **28 ページ手順 2 の画面で、「Panasonic BD ドライバー」をクリックして、右の画面が表示されたら、［次へ］をクリックする**

- 画面の指示に従って、作業を進めてください。

2 **インストール終了後、**

① **「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択する**

② **［完了］をクリックする**
（パソコンが再起動されます）

- 再起動後に本機での BD-R/BD-RE/DVD-RAM ディスクの読み書きが可能となります。

BD ドライバーソフトのインストール（つづき）

Windows XP の場合

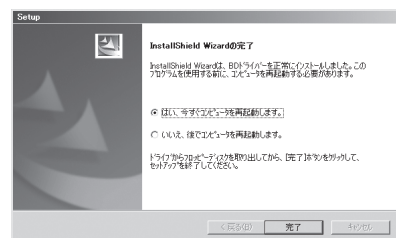
1 28 ページ手順 2 の画面で、「Panasonic BD ドライバー」をクリックして、右の画面が表示されたら、[次へ]をクリックする

- 画面の指示に従って、作業を進めてください。

---

2 インストール終了後、

❶ [はい、今すぐコンピュータを再起動します。]を選択する

❷ [完了]をクリックする
（パソコンが再起動されます）

- 再起動後に本機での BD-R/BD-RE/DVD-RAM ディスクの読み書きが可能となります。

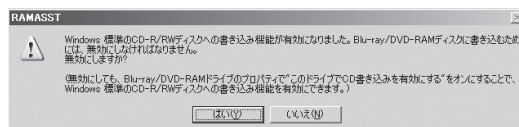
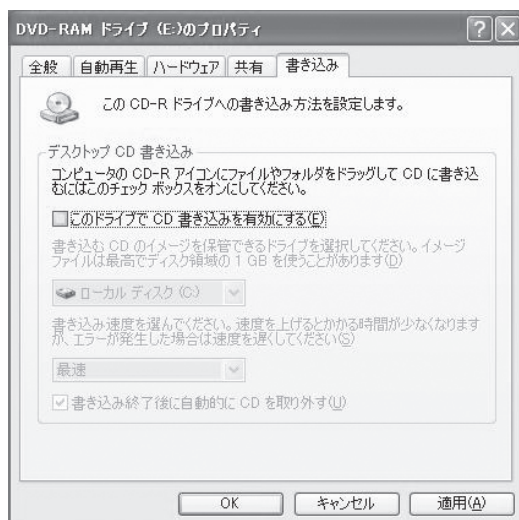
お知らせ

BD-R/BD-RE/DVD-RAM ディスクに書き込むためには、ドライブのプロパティで [このドライブで CD 書き込みを有効にする] をオフにする必要があり、本機では補助ツールでオフにすることができます。オンになった場合は、右下の画面が表示されますので [はい] をクリックしてください。
オフの状態では、Windows XP 標準の CD-R/RW ディスクへの書き込み機能は使用できません。
CD-R/RW ディスクへ書き込みをするときは、[このドライブで CD 書き込みを有効にする] をオンにしてください。

補助ツールを無効にしたいときは：
[スタート] → [すべてのプログラム] → [スタートアップ] → [RAMASST]（右クリック）→ [削除] を選択し、再起動する。

また、再度有効にしたいときは：

1 **[スタート] → [すべてのプログラム] → [スタートアップ]（右クリック）→ [開く -All Users (P)] を選択し、スタートメニューを表示させる**
2 **スタートメニュー画面上のアイコンのないところで右クリックする。**
3 **[新規作成] → [ショートカット(S)] を選択し、C: ¥Windows ¥System32(64 bit OS の場合は 'SysWOW64') ¥RAMASST.exe を指定し、再起動する。**

※補助ツールの有効 / 無効を設定するときは、Administrator（管理者）グループに所属したユーザー名でログオンしてください。

インストール後の確認

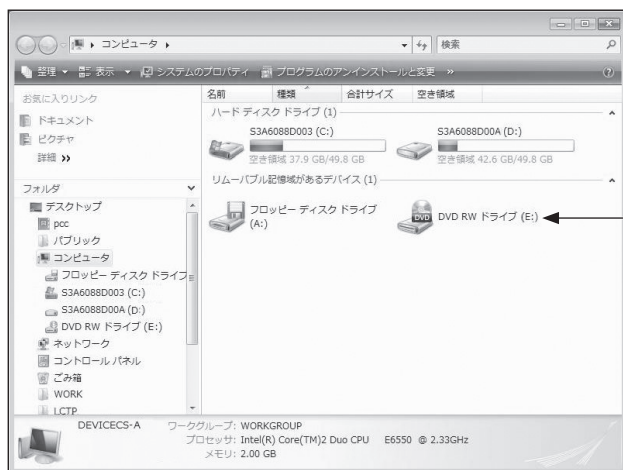
以下の方法で、本機が正常に認識されていることを確認してください。

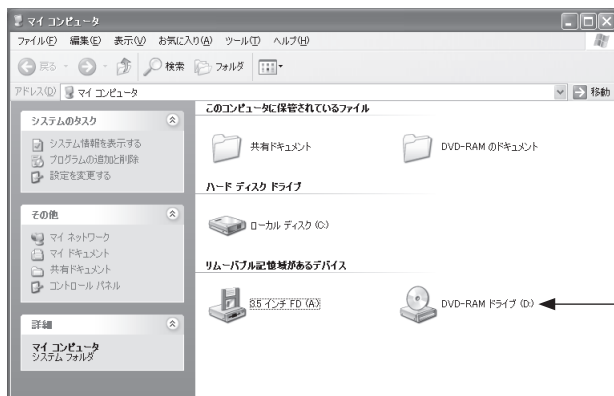
■「コンピュータ」または「マイコンピュータ」上での確認

本機を接続すると、「コンピュータ」または「マイコンピュータ」上にアイコンが追加されます。
下の画面例では、E または D ドライブがブルーレイディスクドライブとして認識されています。

お知らせ

- ドライブのアイコン表示が追加されていなければ Ctrl ＋ R を押して表示の更新を行ってください。
- 表示の更新を行っても、ドライブのアイコンが追加されてない場合は、BIOS 設定での SATA 設定変更やコントローラ（AHCI など）の設定変更が必要です。
  ご使用のパソコンまたはマザーボードの取扱説明書をご覧ください。

Windows Vista の場合

本機用ドライブアイコンが追加
（Service Pack 1 では BD-RE と表示されます。）

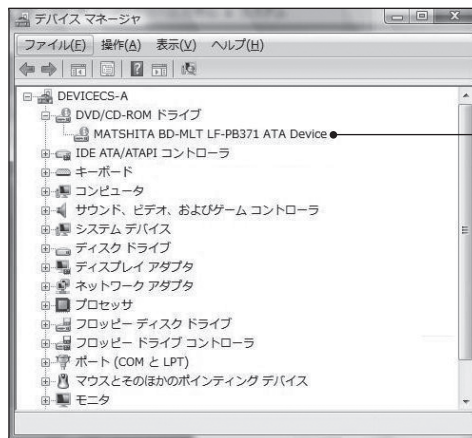
Windows XP の場合

本機用ドライブアイコンが追加

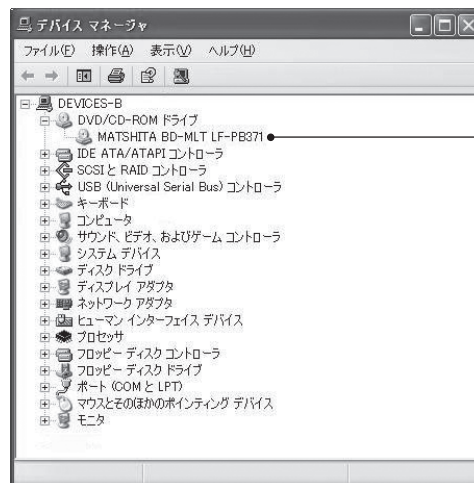
インストール後の確認（つづき）

■ [デバイスマネージャ]上での確認

製品名は“LF-PB371”と表示されます。

Windows Vista の場合

1. [スタート]→[コントロールパネル]→[システムとメンテナンス]→[システム]をクリック
2. [デバイスマネージャ]→[続行]をクリック
3. 画面中の[DVD/CD-ROM ドライブ]をダブルクリックする。

Windows XP の場合

1. [スタート] → [コントロールパネル] → [システム] → [ハードウェア] タブをクリックする。
2. [デバイスマネージャ] 欄の [デバイスマネージャ] ボタンをクリックする。
3. 画面中の [DVD/CD-ROM ドライブ] をダブルクリックする。

ソフトウェアのアンインストール

お使いのパソコンにインストールしたドライバーソフト／アプリケーションソフトを削除する場合、以下の方法でアンインストールしてください。

お知らせ

- Windows XP での BD ドライバーのアンインストールは、Administrator（管理者）グループに所属したユーザー名で行ってください。

■ Windows Vista の場合

1 [スタート]→[コントロールパネル]を選択する

- [コンピュータ]を開き、[プログラムのアンインストールと変更]を選択しても対象ソフトを選択できます。

2 [プログラムのアンインストール]を開き削除するソフトを選択する

3 [アンインストール]または[アンインストールと変更]をクリックする

- 画面の指示に従って作業を進めてください。
- 作業終了後、パソコンを再起動してください。

■ Windows XP の場合

1 [スタート]→[コントロールパネル]を選択する

2 [プログラムの追加と削除]を開き、削除するソフトを選択する

3 [変更と削除]をクリックする

- 画面の指示に従って作業を進めてください。
- 作業終了後、パソコンを再起動してください。

お知らせ

- CyberLink Blu-ray Disc Suite の場合は構成ソフトをそれぞれ個別に削除した後で、[CyberLink Blu-ray Disc Suite]を削除してください。

BD-R/BD-RE/DVD-RAM ディスクの論理フォーマット

BD-R/BD-RE/DVD-RAM ディスクにファイルを書き込むためには、論理フォーマットをする必要があります。論理フォーマットをした BD-R/BD-RE/DVD-RAM ディスクは、フロッピーディスクやハードディスクと同じ感覚でファイルを書き込むことができます。
ただし、BD-R は書き込んだファイルを削除しても空き領域は増えません。
本機は BD-RE/DVD-RAM ディスクに対して自動交替セクター機能を標準装備しています。この機能は、データ記録時に記録したセクターをベリファイ(確認)して、記録状態の悪いセクターを発見し、ユーザー管理領域外に自動的にデータを退避(交替)させる機能で、より信頼性の高い記録を実現します。

フォーマット形式について

BD-R/BD-RE/DVD-RAM ディスクのフォーマット形式には、UDF 形式と FAT32 形式があります。
用途に合わせて、使い分けることをおすすめします。
両面タイプの DVD-RAM ディスクについては、片面毎にフォーマットをしてください。

■ UDF(Universal Disk Format)形式

BD/DVD の統一標準フォーマットです。ファイルサイズの大きな(画像、音声データ)読み書きを高速で行うことができます。

■ FAT32 形式

Windows の標準フォーマットで、ハードディスクなどで使用されている論理フォーマットです。
BD-R ディスクでは使用できません。

※ 詳細につきましては、☞ 37 ページを参照ください。

フォーマットソフト(DVDForm)の起動について

- フォーマットソフトをご使用の時は、Administrator（管理者)グループに所属したユーザー名でログオンしてください。
- フォーマットソフトの起動前に、BD-R/BD-RE/DVD-RAM ディスクを使用中の全てのアプリケーションを終了してください。

Windows Vista でのフォーマットソフトの起動

1 フォーマットする BD-R/BD-RE/DVD-RAM ディスクを本機にセットする

2 [スタート]→[すべてのプログラム]→[Panasonic Blu-ray]→[BD ドライバー]→[DVDForm]をクリックする

下のフォーマット画面が表示されるので、必要な作業をする。

- Windows Vista には OS 標準で DVD-RAM ディスクなどをフォーマットする機能があります。
  OS 標準のフォーマットソフトは以下の手順で起動できます。
  [コンピュータ]を開き、本機に割り当てられたアイコンを右クリックし、[フォーマット]をクリックすると、OS 標準のフォーマットソフトを起動できます。

お知らせ

- OS 標準のフォーマットソフトでは UDF2.6 などをサポートしていません。
  本機付属の「BD ドライバー(DVDForm)」の使用をお勧めします。

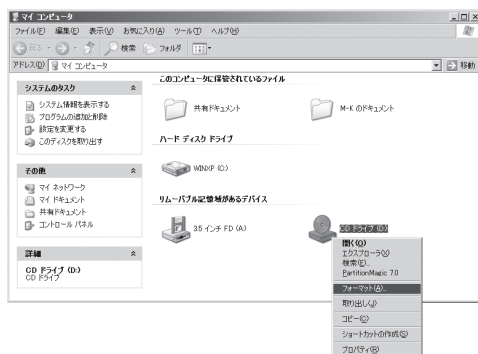
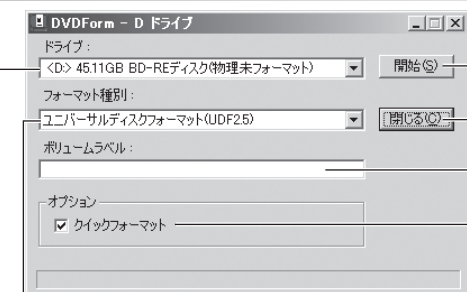
Windows XP でのフォーマットソフトの起動

1 フォーマットする BD-R/BD-RE/DVD-RAM ディスクを本機にセットする

2 ① [マイコンピュータ]を開く

② 本機に割り当てられたアイコン(DVD-RAM の場合は NEW_VOLUME (D:) アイコン)を、マウスの右ボタンでクリックする

3 メニュー中の[フォーマット]をクリックする

下のフォーマット画面が表示されるので、必要な作業をする。

フォーマット画面について

フォーマットを開始する

DVDForm を終了する

UDF 形式を選択したときは、ボリュームラベル名を入力する(UDF 形式の場合は半角 32 文字まで入力可能)

- 入力しない場合、"UDF+ 西暦年＋月＋日"が自動的に設定されます。
  FAT32 形式のときは、とくにボリュームラベル名を入力する必要はありません。
  (FAT32 形式の場合は半角 11 文字まで入力可能)

▼ をクリックし、フォーマット形式を選択する
(☞ 37 ～ 38 ページ)

ドライブの選択

クイックフォーマットをする場合に選択する

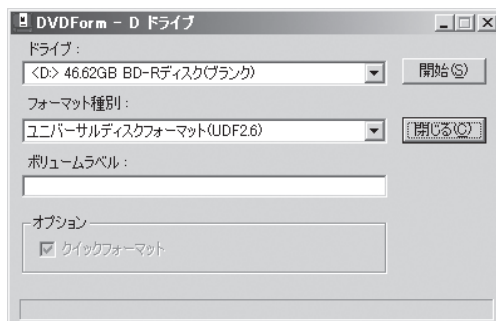
- ブランク BD-R ディスクの場合は、自動的に選択状態となり、未選択状態にはできません。
- 物理未フォーマット DVD-RAM ディスクの場合は、自動的に未選択状態となり、選択状態にはできません。
- クイックフォーマットオプションが選択状態の場合は、全セクターの検査は行われません。
- クイックフォーマットオプションが未選択状態の場合は、全セクターを検査し、不良セクターの検出(通常のフォーマット)を行います。
  (通常は、25GB BD-RE ディスクは 90-135 分程度、50GB BD-RE ディスクは 180-270 分程度、4.7 GB DVD-RAM ディスクは 25-85 分程度、1.4 GB DVD-RAM ディスクは 15-25 分程度で終了します)
- 物理未フォーマットの BD-RE などの場合、クイックフォーマットは全セクター検査を行わない物理フォーマット(セクター区分け)も行います。

推奨フォーマットについて

■ブランク BD-R ディスクを使用するときは、フォーマット種別“ユニバーサルディスクフォーマット(UDF2.6)”を選択します。

ただし、UDF2.6 フォーマットされた BD-R ディスクは、BD レコーダー等で記録・再生できないことがあります。

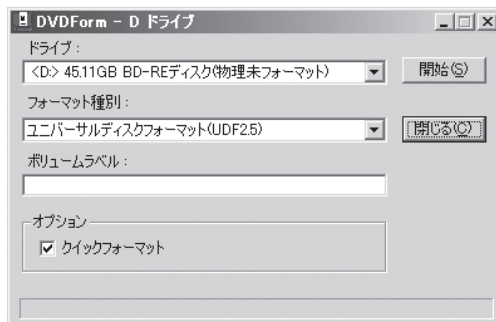
1 フォーマット種別で、[ユニバーサルディスクフォーマット(UDF2.6)]を選択する

2 ボリュームラベルを入力する

3 [開始]をクリックする

■BD-RE ディスクを使用するときは、フォーマット種別“ユニバーサルディスクフォーマット(UDF2.5)”を選択します。

1 フォーマット種別で、[ユニバーサルディスクフォーマット(UDF2.5)]を選択する

2 ボリュームラベルを入力する

3 [開始]をクリックする

お知らせ

- Windows XP の場合、付属のフォーマットソフト(DVDForm)で DVD-RAM ディスクをフォーマットした後で、DVD-RAM アイコンが CD-ROM アイコンに変わることがあります。このような場合は、エクスプローラの [表示] メニューの [最新の情報] を選択して、表示の更新をしてください。

フォーマット形式の説明

■フォーマット形式

フォーマット形式	説 明
ユニバーサルディスクフォーマット(UDF1.5)	● DVD-RAM ディスクで広く用いられているフォーマット形式です。 ● UDF1.5 形式の DVD-RAM ディスクは、DVD フォーラム策定の「ビデオレコーディング規格」準拠の DVD レコーダーや同規格準拠の PC 用記録ソフトでは使用できません。 ● UDF1.5 形式の BD-RE ディスクは、Blu-ray Disc Association 策定の「ビデオレコーディング規格」準拠の BD レコーダーや同規格準拠の PC 用記録ソフトでは使用できません。
ユニバーサルディスクフォーマット(UDF2.0)	● DVD フォーラムが規定する DVD-RAM ディスクの標準フォーマット形式です。DVD フォーラム策定の「ビデオレコーディング規格」準拠の DVD レコーダーや同規格準拠の PC 用記録ソフトで使用するためのフォーマット形式です。 ● UDF2.0 形式の BD-RE ディスクは、Blu-ray Disc Association 策定の「ビデオレコーディング規格」準拠の BD レコーダーや同規格準拠の PC 用記録ソフトでは使用できません。
ユニバーサルディスクフォーマット(UDF2.5)	● Blu-ray Disc Association が規定する BD-RE ディスクの標準フォーマット形式です。Blu-ray Disc Association 策定の「ビデオレコーディング規格」準拠の BD レコーダーや同規格準拠の PC 用記録ソフトで使用するためのフォーマット形式です。 ● UDF2.5 形式の DVD-RAM ディスクは、DVD フォーラム策定の「ビデオレコーディング規格」準拠の DVD レコーダーや同規格準拠の PC 用記録ソフトでは使用できません。
ユニバーサルディスクフォーマット(UDF2.6)	● Blu-ray Disc Association が規定する BD-R（Sequential Recording Mode with Logical OverWrite）ディスクの標準フォーマット形式です。Blu-ray Disc Association 策定の「ビデオレコーディング規格」準拠の BD レコーダーや同規格準拠の PC 用記録ソフトで使用するためのフォーマット形式です。
FAT32	● Windows Vista/XP の標準フォーマット形式です。

フォーマット形式の説明（つづき）

■各ディスクで使用可能なフォーマット形式とフォーマット直後の使用できる空き容量と OS による使用容量
● 25 GB/50 GB BD-R/RE ディスクのアンフォーマット時の全容量は 25 GB/50 GB
● 4.7 GB/9.4 GB DVD-RAM ディスクのアンフォーマット時の片面全容量は 4.7 GB
● 1.4 GB/2.8 GB DVD-RAM ディスクのアンフォーマット時の片面全容量は 1.4 GB

ディスク種別	フォーマット形式	空き容量	OS による使用容量
BD-R 25GB	UDF2.6	22.5 GB	16.1 MB
BD-R 50GB	UDF2.6	45 GB	16.1 MB
BD-RE 25GB	UDF2.0/1.5	22.5 GB	1.41 MB
	UDF2.5	22.5 GB	17.4 MB
	FAT32※1	22.5 GB	4 KB
BD-RE 50GB	UDF2.0/1.5	45.1 GB	2.82 MB
	UDF2.5	45 GB	18.8 MB
	FAT32※1	45 GB	4 KB
DVD-RAM 4.7GB 9.4GB の片面	UDF2.0/1.5	4.26 GB	282 KB
	UDF2.5	4.24 GB	16.2 MB
	FAT32	4.25 GB	4 KB
DVD-RAM 1.4GB 2.8GB の片面	UDF2.0/1.5	1.3 GB	92 KB
	UDF2.5	1.29 GB	16 MB
	FAT32	1.3 GB	4 KB

パナソニック株式会社製の BD-R/BD-RE/DVD-RAM ディスクと本フォーマットソフトを使用した場合のフォーマット直後のディスク容量です。

※ 1 FAT32 でフォーマットした BD-RE ディスクに多数ファイルを書いた場合、UDF フォーマットと比較して 10 倍以上の時間がかかることがあります。

BD/DVD レコーダーで記録された BD-R/BD-RE/DVD-RAM ディスクの取り扱いについて

「ビデオレコーディング規格」準拠の BD/DVD レコーダーや、BD/DVD ビデオカメラおよび同規格準拠の PC 用ソフトで記録された BD-R/BD-RE、DVD-RAM ディスク上には、“BDAV”や“DVD_RTAV”などのフォルダーが作成されます。
このフォルダーやフォルダー内のファイルを削除、変更しないでください。
（BD/DVD レコーダーや PC 用ソフトで再生できなくなります。）

ライトプロテクトツールの使いかた

本製品には、ライトプロテクトツールが付属されています。
ライトプロテクトツールは、BD-R/BD-RE/DVD-RAM ディスクに対して以下の機能を提供します。
BD-R/BD-RE/DVD-RAM ディスク単位でのソフトウェアライトプロテクトの設定 / 解除

ライトプロテクトツールの起動

[スタート] メニューから、[すべてのプログラム] → [Panasonic Blu-ray] → [BD ドライバー] → [WPTool] を選択する。

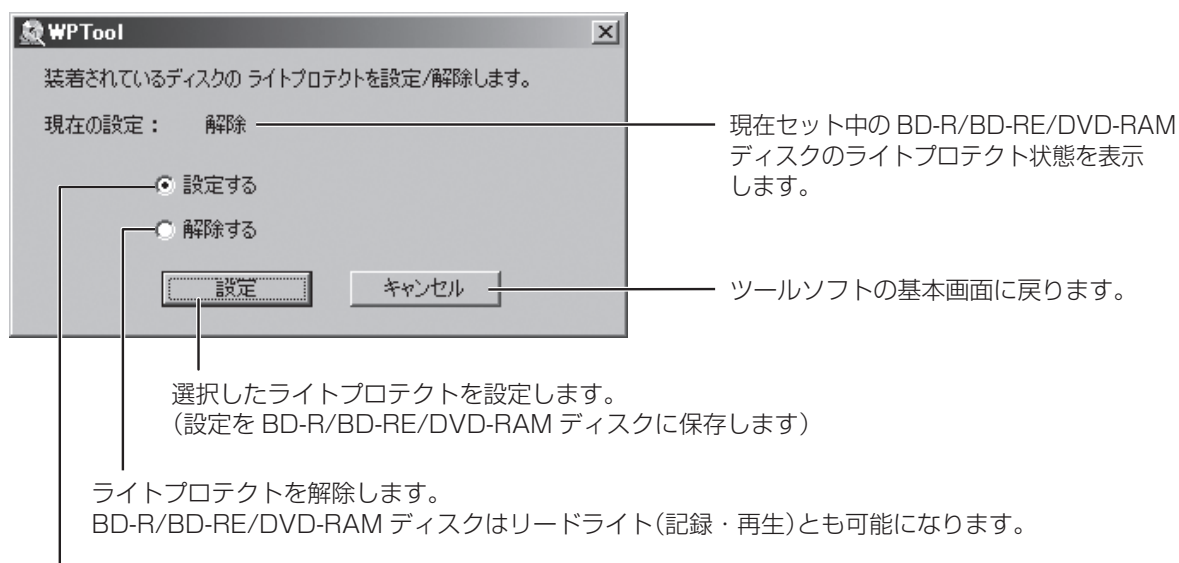
次のようなライトプロテクトツールソフト基本画面が表示されます。
使用するドライブを選択し、「ライトプロテクト設定」ボタンをクリックしてください。

■ ライトプロテクトツール起動画面

ライトプロテクトツールの使い方

ライトプロテクトを設定／解除したい BD-R/BD-RE/DVD-RAM ディスクをドライブにセットし、前記のツールソフト基本画面で[ライトプロテクト設定]をクリックする。

次の画面が表示されます。

■ ライトプロテクト設定画面

ファイルのコピーやフォーマットができないとき

下記の点をお確かめください。その原因と対処方法を以下に示します。

原　因	対　処　方　法
本機が対応していないディスクを使っている	本機対応のディスクをご使用ください。(☞ 12、15、44 ページ) 2.6 GB タイプ や RAM2 マークの付いたディスクは非対応です。
ディスクが汚れている または、傷ついている	ディスクのお手入れ(☞ 16 ページ)や新しいディスクでお試しください。 汚れたり傷ついたりすると、記録・再生ができない場合があります。
フォーマットが適していない または、合っていない	目的に適したフォーマットを使用してください。(☞ 34 ～ 38 ページ) フォーマットの混在はできません。
ディスクにライトプロテクトが設定されている	ライトプロテクトツールを用いて、ディスクのライトプロテクトを解除してください。(上記を参照)

困ったとき !?

トラブルが発生した場合、まず、以下の点をお調べください。
以下の点をお確かめになり、トラブルが解消されない場合、付属のサポート依頼書(☞ 45 ページ)のコピーに必要事項をご記入のうえ、お買い上げの販売店または弊社 P[3] カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

こんなときは	ここをお調べください	参照ページ
トレイが出ない	● パソコンの電源ケーブルが正しく接続されていますか？ ● パソコンの電源が入っていますか？	21 —
トレイが入らない	● ディスクが正しくセットされていますか？	22～23
パソコンが起動しない	● 本機とパソコンが正しく接続されていますか？ ● パソコンにフロッピーディスクが入っていませんか？ ● SATA 機器を使用するには、パソコンの BIOS 設定での SATA 設定変更やコントローラ(AHCI など)の設定変更が必要な場合があります。 詳しくは、ご使用パソコンまたはマザーボードの取扱説明書をご参照ください。	20～21 — —
パソコンから操作しても本機が動作しない	● 本機とパソコンが正しく接続されていますか？ ● BD ドライバーが正しくインストールされていますか？ ● SATA 機器を使用するには、パソコンの BIOS 設定での SATA 設定変更やコントローラ(AHCI など)の設定変更が必要な場合があります。 詳しくは、ご使用パソコンまたはマザーボードの取扱説明書をご参照ください。	21 28～30 —
本機が Windows 上で認識されない	● BD ドライバーが正しくインストールされていますか？ ☞ BD ドライバーを必ずインストールしてください。 ● SATA 機器を使用するには、パソコンの BIOS 設定での SATA 設定変更やコントローラ(AHCI など)の設定変更が必要な場合があります。 詳しくは、ご使用パソコンまたはマザーボードの取扱説明書をご参照ください。	28～30 —
BD-R/BD-RE/DVD-RAM ディスクが使用できない	● フォーマットされていますか？ ● 正しいドライブ名にアクセスしていますか？	34～38 31
BD-R/BD-RE/DVD-RAM ディスクに記録できない	● ライトプロテクトが設定されていませんか？	39～40
CD-ROM/DVD-ROM が使用できない	● ディスクが正しくセットされ、動作表示ランプが消灯していますか？ ● 正しいドライブ名にアクセスしていますか？	17･22～23 31

用語解説

用語	解説
AACS	Advanced Access Content System の略で、デジタルコンテンツの著作権保護技術の一つです。BD などの高画質タイトルに使用され、AACS に対応した機器や再生ソフトとメディアでないと録画や再生ができません。
AHCI	Advanced Host Controller Interface の略で、Serial ATA の拡張機能に対応したホストコントローラーのインターフェイス規格です。AHCI は従来の IDE とは互換性がありません。
ATAPI	ATA Packet Interface の略で、IDE コントローラーに CD-ROM などのハードディスク以外の機器を接続するためのパケットインターフェースです。
AVCHD	ハイビジョン映像を H.264(MPEG-4/AVC)方式で圧縮し､DVD やハードディスク、メモリーカードなどに記録する、デジタルビデオカメラの記録フォーマットです。HDV とは互換性がなく AVCHD 対応機器でないと再生できません。
AVCREC	DVD に、Blu-ray Disc の BDAV 形式を応用して、H.264 などの方式を利用しハイビジョン映像を著作権保護して記録する規格です。 BDA(Blu-ray Disc Association)により規格化され、ハイビジョン放送の録画に使用されています。AVCHD とは互換性がなく、AVCREC に対応した機器でないと再生できません。
BDAV	BD-R、BD-RE などの書き込みディスクで使用されるアプリケーションフォーマットの一種で追記が可能な録画用です。DVD 規格での DVD-VR(VR モード)に相当します。
BD-LIVE	BD-ROM(ビデオ)のネットワークやインタラクティブ機能などを定めた規格で、インターネット経由で追加の映像や字幕のダウンロード、通信対応ゲームなどが利用できます。ネットワーク接続と 1 GB 以上の記憶容量が必要です。
BDMV	「BD-ROM」のアプリケーション規格です。パッケージビデオで用いられるメニューやチャプターの構成ができる、追記が不可能な(一度書き専用)録画用です。DVD 規格での DVD-Video に相当します。
BIOS (バイオス)	Basic Input Output System の略で、OS とハードウェアの間でデータの受け渡しを制御する基本的なソフトウェアで、通常はパソコン本体のメモリーに内蔵されています。
BONUS VIEW (Bonus View)	BD-ROM(ビデオ)の特典映像を PinP(ピクチャインピクチャ)により子画面画面表示したり、ローカルなストレージにアクセスしたりできる機能です。 「BD-ROM Profile 1.1」と呼ばれることもあります。

用語	説明
COPP	Certified Output Protection Protocol の略で、デジタルコンテンツの著作権保護技術の 1 つです。コンテンツ保護の制御を行うアプリケーションと GPU の間で暗号化による認証と保護を行います。
CPRM	「Content Protection for Recordable Media」の略で、デジタル放送コンテンツ等の著作権保護システムのことです。
H.264 (MPEG4/AVC)	映像(動画データ)の圧縮符号化方式の一つで、DVD ビデオやデジタル放送などに使用されている MPEG2 方式よりも､効率の高い圧縮ができます。国際標準の圧縮方式 MPEG-4 の一部(MPEG-4 AVC)として規定されています。
HDCP	High-bandwidth Digital Content Protection system の略で、デジタルコンテンツの著作権保護技術の一つです。GPU から外部ディスプレイなどへ出力するデジタル信号経路を暗号化します。DVI や HDMI などのデジタルインターフェースに用いられます。
HDV	ハイビジョン映像を DVD ビデオなどと同じ MPEG-2 方式で圧縮し、MiniDV カセットなどのテープに記録する、デジタルビデオカメラの記録フォーマットです。AVCHD とは互換性がありません。
SATA (Serial ATA または シリアル ATA)	Serial ATA WG によって策定されたデータ通信規格で、従来の ATA 仕様で用いられたパラレル転送方式を、シリアル転送方式に変更したものです。シンプルなケーブルで高速な転送速度を実現することができます。
UDF フォーマット	Universal Disk Format の略で、BD-R/RE、BD-ROM、DVD-RAM、DVD-Video、DVD-ROM、DVD-R、DVD-R DL、+R、+R DL、DVD-RW、+RW、CD-RW に採用されているディスクフォーマットです。
相変化書換型	ディスク上の記録膜(結晶状態か非結晶状態)の反射率の差を利用し、読み書きをするタイプの光ディスクです。
ドライバーソフト	周辺機器の動作に必要な情報を OS に提供したり、動作を管理するソフトウェアです。「デバイスドライバー」や単に「ドライバー」と呼ばれることもあります。
物理フォーマット	ディスク定義情報や欠陥管理情報の書き込みを行い、セクターレベルでのアクセスを可能にする動作のことです。BD-RE (50GB)ディスクは全面検査なしで数十秒、全面検査ありで約 270 分程度の時間を要します。
論理フォーマット	初期化(イニシャライズ)とも呼びます。BD-R/BD-RE/DVD-RAM ディスクがパソコンシステムで読み書きできるよう、システムの各種管理情報をディスクに書き込みする作業を言います。

主な仕様

■ ブルーレイディスクドライブ

電源			
電源	電圧	DC+5 V ± 5 %	DC+12 V ± 10 %
	消費電流	最大 1.4 A	最大 1.5 A

項目		仕様
インターフェース		SATA(シリアル ATA)
	電源コネクター	SATA 標準
	信号コネクター	SATA 標準
アクセスタイム	BD-ROM	210 ms
	DVD-RAM	350 ms
	DVD-ROM	170 ms
	CD-ROM	150 ms
連続データ転送速度※6(理論値) 1 倍速の転送速度 BD ディスク：4.5 MB/s DVD ディスク：1350 KB/s CD ディスク：150 KB/s	BD-R	最大 8 倍速(1 層 /2 層　記録・再生時)※1
	BD-RE	2 倍速(1 層 /2 層　記録・再生時)
	BD-ROM	最大 8 倍速(再生時)
	DVD-RAM	最大 5 倍速(5 倍速対応 4.7 GB 記録・再生時)
	DVD-R	最大 16 倍速(16 倍速対応ディスク)(記録・再生時)
	DVD-R DL	最大 8 倍速(8 倍速対応ディスク)(記録・再生時)
	DVD-RW	最大 6 倍速(記録時)、最大 8 倍速(再生時)
	+R	最大 16 倍速(16 倍速対応ディスク)(記録・再生時)
	+R DL	最大 8 倍速(8 倍速対応ディスク)(記録・再生時)
	+RW	最大 8 倍速(8 倍速対応ディスク)(記録・再生時)
	DVD-ROM	最大 16 倍速(1 層　再生時)、最大 8 倍速(2 層　再生時)
	DVD-Video	最大 6 倍速(再生時)
	CD-R	最大 48 倍速(記録・再生時)
	CD-RW	最大 24 倍速(記録時)、最大 32 倍速(再生時)
	CD-ROM	最大 48 倍速(再生時)
	CD-DA	最大 24 倍速(再生時)
バッファー容量		8 MB
設置方向		横置き / 縦置き(ただし、縦置きでは 8 cm ディスクは使用不可)
許容動作温度		5℃～ 45℃
許容動作湿度		10 %RH ～ 80 %RH（結露なきこと）
外形寸法(幅×高さ×奥行)		146.0 mm × 41.1 mm × 190.0 mm（前面パネルおよび突起部は除く）
質量		約 900 g
対応ディスク※6		BD-R(Ver.1.1/1.2/1.3)※5 [1 層　25 GB、2 層　50 GB]、 BD-RE(Ver.2.1)※4※5 [1 層　25 GB、2 層　50 GB]、BD-ROM
		DVD-RAM※2※4※5 [9.4 GB、2.8 GB](両面) [4.7 GB、1.4 GB](片面)(120 mm、80 mm)
		DVD-R(for General、Ver.2.0/2.1)※2※5 [4.7 GB](120 mm)、 DVD-R DL(Ver.3.0)[8.5 GB]、DVD-RW(Ver.1.1/1.2)※2 [4.7 GB]
		＋ R(Ver.1.0/1.1/1.2/1.3)※2 [4.7 GB]、 ＋ R DL(Ver.1.0/1.1)[8.5 GB]、＋ RW(Ver.1.1/1.2/1.3/High Speed Ver.1.0)※2 [4.7 GB]
		DVD-ROM、DVD-Video、CD-R、CD-RW(120 mm、80 mm)
対応フォーマット		CD-DA(音楽 CD)※3、CD TEXT、CD-EXTRA、CD-ROM(Mode1、Mode2 Form 1)、CD-ROM XA(Mode2 Form 2)、Photo CD(マルチセッション対応)、Video CD

※ 1 8 倍速での記録・再生は、6 倍速対応のディスクのみ可能です(すべてのディスクを保証するものではありません)。
※ 2 ディスク容量はアンフォーマット時の容量です。両面ディスクは同時に両面の記録再生はできません。
※ 3 CD-G には対応していません。
※ 4 カートリッジ式のディスクは、ディスクの取り出しができるものに限ります。
※ 5 BD-R、BD-RE、DVD-RAM、DVD-R(for General)ディスクは、パナソニック(株)製を推奨します。(☞ 裏表紙)
※ 6 すべてのディスクを保証するものではありません。ディスク･ドライブ･記録形式･パソコンの性能などによっては、本機の記録・再生性能を発揮できない場合があります。

※定格仕様及び外観・デザインは、性能向上その他の理由で、予告なく変更することがあります。

ユーザーサポートについて

本製品につきましては、品質に万全を期しておりますが、万一サポートが必要なときは、ご面倒でも下記の内容について可能な限り詳しい情報をお知らせください。

- 修理などを依頼される場合は、必ずこのページのコピーに必要事項を記入のうえ、ドライブに添付して、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- **使用方法に関するお問い合わせは、**FAX にて下記の送り先に送信してください。
  送り先：P[3] カスタマーサポートセンター（FAX：03-3436-1889）
- **CyberLink Blu-ray Disc Suite(PowerDVD/PowerProducer/PowerDirector/Power2Go/PowerBackup)に関するお問い合わせについては、CyberLink Blu-ray Disc Suite のクイックガイドをご覧ください。**

<table>
<tr><td colspan="2">サポート依頼書</td><td>記入年月日</td><td>年　月　日</td></tr>
<tr><td>製品名／品番</td><td>ブルーレイディスクドライブ LF-PB371JD</td><td>製造番号</td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="3">ご依頼者</td><td>フリガナ
お名前</td><td></td><td>電話番号
FAX番号</td><td>(　　)　　ー
(　　)　　ー</td></tr>
<tr><td>フリガナ
(貴社名)</td><td></td><td>昼間の
連絡先</td><td>(　　)　　ー</td></tr>
<tr><td>ご住所</td><td colspan="3">〒　都道府県　区市郡</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="10">システムの環境</td><td>パソコン</td><td>型番：　（メーカー：　）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">マザーボード</td><td>型番：　（メーカー：　）</td></tr>
<tr><td>CPU：　メインメモリー容量：　MB</td></tr>
<tr><td>ChipSet：　コントローラー：</td></tr>
<tr><td rowspan="2">OS</td><td>□ Windows XP(Home Edition/Professional)　32/64 bit OS</td></tr>
<tr><td>□ Windows Vista(Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate)　32/64 bit OS</td></tr>
<tr><td>グラフィックボード</td><td>メーカー名：　メモリ容量：　MB
型番：</td></tr>
<tr><td rowspan="2">その他の周辺機器</td><td>SATA 機器：</td></tr>
<tr><td>その他：</td></tr>
<tr><td>拡張ボード</td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="5">お問い合わせ</td><td>現象発生時は</td><td>□ドライブ接続時　□インストール中</td></tr>
<tr><td></td><td>□ソフト使用中（ソフト名：　）</td></tr>
<tr><td>使用ディスクは</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">何が起きましたか？（現象を、できるだけ詳しくご記入ください。）</td></tr>
<tr><td colspan="2">整理番号：</td></tr>
</table>

保証とアフターサービス　（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…
- **修理は、サービス会社の「修理ご相談窓口」へ！**
- **その他のお問い合わせは、「P³カスタマーサポートセンター」へ！**

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日･販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■ 補修用性能部品の保有期間 7年

当社は、このブルーレイディスクドライブの補修用性能部品を、製造打ち切り後 7 年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

・41 ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まずパソコンの電源プラグを抜いて、お買い上げの 販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

- **保証期間を過ぎているときは**

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

- **修理料金の仕組み**

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	ブルーレイディスクドライブ
品 番	LF-PB371JD
製造番号	（　　　　　　　　　　）
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

修理に関するご相談

パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-087-087**

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/光電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

商品についてのお問い合わせは

P³カスタマーサポートセンター

電 話 **03-3436-1888**
FAX **03-3436-1889**
10:00～12:00、12:45～17:00
（※土・日・祝日は除く）

最新の情報をインターネットでご覧ください。
http://panasonic.jp/p3

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/光電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区

地区	住所	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	☎(0166)22-3011
帯広	帯広市西20条北2丁目23-3	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地区	住所	電話
青森	青森市大字浜田字豊田364	☎(017)775-0326
秋田	秋田市外旭川字小谷地3-1	☎(018)868-7008
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	☎(019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	☎(024)991-9308

首都圏地区

地区	住所	電話
栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	☎(028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎(027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5822
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東区東明1丁目8-14	☎(025)286-0180

中部地区

地区	住所	電話
石川	金沢市横川3丁目20	☎(076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	☎(076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	☎(0776)21-0622
長野	松本市寿北7丁目3-11	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市葵区千代田7丁目7-5	☎(054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	☎(058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	津市久居野村町字山神421	☎(059)254-5520

近畿地区

地区	住所	電話
滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)646-2123
大阪	大阪市城東区関目2丁目15-5	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4	☎(078)796-3140

中国地区

地区	住所	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	☎(086)242-6236
広島	広島市西区南観音1丁目13-5	☎(082)295-5011
山口	山口市小郡下郷220-1	☎(083)973-2720

四国地区

地区	住所	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	☎(088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	☎(088)834-3142
愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	☎(089)905-7544

九州地区

地区	住所	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1919-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	天草市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	奄美市名瀬朝仁町11-2	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地区	住所	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0608

別売品のご紹介

BD-RE ディスク

LM-BE25D	（1 枚）（25 GB ／ 1 層／ 2 倍速）
LM-BE50D	（1 枚）（50 GB ／片面 2 層／ 2 倍速）

BD-R ディスク

LM-BR25D	（1 枚）（25 GB ／ 1 層／ 2 倍速）
LM-BR50D	（1 枚）（50 GB ／片面 2 層／ 2 倍速）
LM-BR25LD	（1 枚）（25 GB ／ 1 層／ 4 倍速）
LM-BR50LD	（1 枚）（50 GB ／片面 2 層／ 4 倍速）
LM-BR25MD	（1 枚）（25 GB ／ 1 層／ 6 倍速）
LM-BR50MD	（1 枚）（50 GB ／片面 2 層／ 6 倍速）

DVD-RAM ディスク

LM-HB94LP3	（3 枚）（9.4 GB ／ TYPE4 ／ 3 倍速）
LM-HB94M	（1 枚）（9.4 GB ／ TYPE4 ／ 5 倍速）
LM-HB47LS3A	（3 枚）（4.7 GB ／ TYPE4 ／ 3 倍速）
LM-HB47MA	（1 枚）（4.7 GB ／ TYPE4 ／ 5 倍速）
LM-HC47LW5	（5 枚）（4.7 GB ／カートリッジなし／ 3 倍速）
LM-HC47M	（1 枚）（4.7 GB ／カートリッジなし／ 5 倍速）

DVD-R(for General、Ver. 2.0)ディスク

LM-RF47MW10	（10 枚）（4.7 GB ／ 8 倍速）

DVD-R(for General、Ver. 2.1)ディスク

LM-RF47NW10	（10 枚）（4.7 GB ／ 16 倍速）

上記の別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックグループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけます。

Pana Sense　http://www.sense.panasonic.co.jp/

あなたが記録した映像や音声、またその他のデータは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

コピーコントロール CD について

- 本機は、CD 規格（コンパクトディスクデジタルオーディオ）に準じていない「コピーコントロール CD」などについては、動作や音質の保証は致しかねます。
- CD 規格に準じた CD の再生や読み出しに支障がなく、上記のような特殊ディスクで支障が出る場合は、ディスクやパッケージ、印刷物などをよくお確かめのうえ、ディスクの発売元へお問い合わせください。

この製品は日本国内用です。日本国外での使用に対するサービスは致しかねます。
This product is designed for use in Japan. Panasonic does not take any service of this product using in other countries.
此产品仅供日本国内使用。在日本国外使用时将不提供售后服务。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です	お買い上げ日	年　月　日	品　番	LF-PB371JD
	販売店名	電話（　　）　－	お近くの当社修理ご相談窓口 電話（　　）　－	

本製品に関する最新情報は、下記ホームページの製品紹介（該当商品品番）をご覧ください。
アドレス：http://panasonic.jp/p3/pro/lfpb371jd.html

パナソニック株式会社

パナソニック コミュニケーションズ株式会社
オプティカルデバイスカンパニー

〒 865-0193　熊本県玉名郡和水（なごみまち）町高野 1080

JDQP0234YA

Printed in China　S0808-1

Panasonic® ブルーレイディスクドライブ　LF-PB371JD　取扱説明書